



茨城県

# 茨城県景気ウォッチャー調査

(平成17年6月調査分)

## 景気の現状判断DI

	平成17年3月	平成17年6月	前回調査比
茨城県	46.9	<b>47.7</b>	+ 0 . 8
県北地域	42.8	<b>45.2</b>	+ 2 . 4
県央地域	47.3	<b>47.8</b>	+ 0 . 5
鹿行地域	45.5	<b>52.1</b>	+ 6 . 6
県南地域	50.4	<b>45.7</b>	- 4 . 7
県西地域	48.6	<b>47.8</b>	- 0 . 8

## 景気の先行き判断DI

	平成17年3月	平成17年6月	前回調査比
茨城県	50.1	<b>48.7</b>	- 1 . 4
県北地域	45.8	<b>46.1</b>	+ 0 . 3
県央地域	50.5	<b>52.7</b>	+ 2 . 2
鹿行地域	54.9	<b>50.4</b>	- 4 . 5
県南地域	52.2	<b>46.1</b>	- 6 . 1
県西地域	47.3	<b>48.2</b>	+ 0 . 9

平成17年7月

茨城県企画部統計課

問い合わせ先

統計課企画分析グループ TEL:029-301-2642

ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/bukka/watch/index.htm>

## 目 次

調査の概要	2
調査結果の概要	4
1 全県の動向	4
(1) 景気の現状判断D I	4
(2) 景気の先行き判断D I	5
2 地域別の動向	6
(1) 景気の現状判断D I	6
(2) 景気の先行き判断D I	8
3 回答率	11
景気の判断理由	12
1 景気の現状判断理由	12
2 景気の先行き判断理由	17
3 その他の意見	22

# 調査の概要

## 1 調査の目的

経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気判断の基礎資料とする。

## 2 調査の範囲

### (1) 対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市及び郡は以下のとおりである。

平成17年6月30日現在

地域	市及び郡
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、那珂郡、久慈郡
県央地域	水戸市、笠間市、東茨城郡、西茨城郡
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、鹿島郡、行方郡
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、稲敷郡、新治郡、筑波郡
県西地域	古河市、筑西市、結城市、下妻市、水海道市、坂東市、真壁郡、結城郡、猿島郡

### (2) 調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

【地域別 業種別調査客体数】

業種名	具	例	県北地域	県央地域	鹿行地域	県南地域	県西地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等		38	39	39	37	36	189
企業関連	製造業(食料品、一般機械器具等)、建設業、金融業		17	16	16	18	19	86
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等		5	5	5	5	5	25
	計		60	60	60	60	60	300

## 3 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断(方向性)
- (2) (1)の理由
- (3) 景気の先行きに対する判断(方向性)
- (4) (3)の理由
- (5) その他景気に関する意見(自由回答)

## 4 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成17年6月調査の調査期間は平成17年5月30日から6月28日である。

## 5 利用上の注意

- (1) 景気動向指数(DI)は景気の方向性を判断するものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

### 景気動向指数(DI)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比(%)に乗じて、景気動向指数(DI)を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

### 2 具体例

回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、  
 $(1 \times 15.0) + (0.75 \times 27.0) + (0.5 \times 25.0) + (0.25 \times 11.0) + (0 \times 22.0) = 50.5$ となる。

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5 \times 100) = 50$ となることから、50を上回っているときは、景気の上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気の下降局面にあるといえる。

# 調査結果の概要

## 1 全県の動向

### (1) 景気の現状判断DI

3か月前と比較した景気の現状判断DIは、「やや良くなっている」の回答構成比が増加し、「やや悪くなっている」の回答構成比が減少したため、0.8ポイント増の47.7となった。3月調査分を上回ったものの、引き続き横這いを表す50を下回った。業種別にみても、家計動向関連DI及び雇用関連DIが3月調査分を上回ったが、企業動向関連DIが3月調査分を下回った。

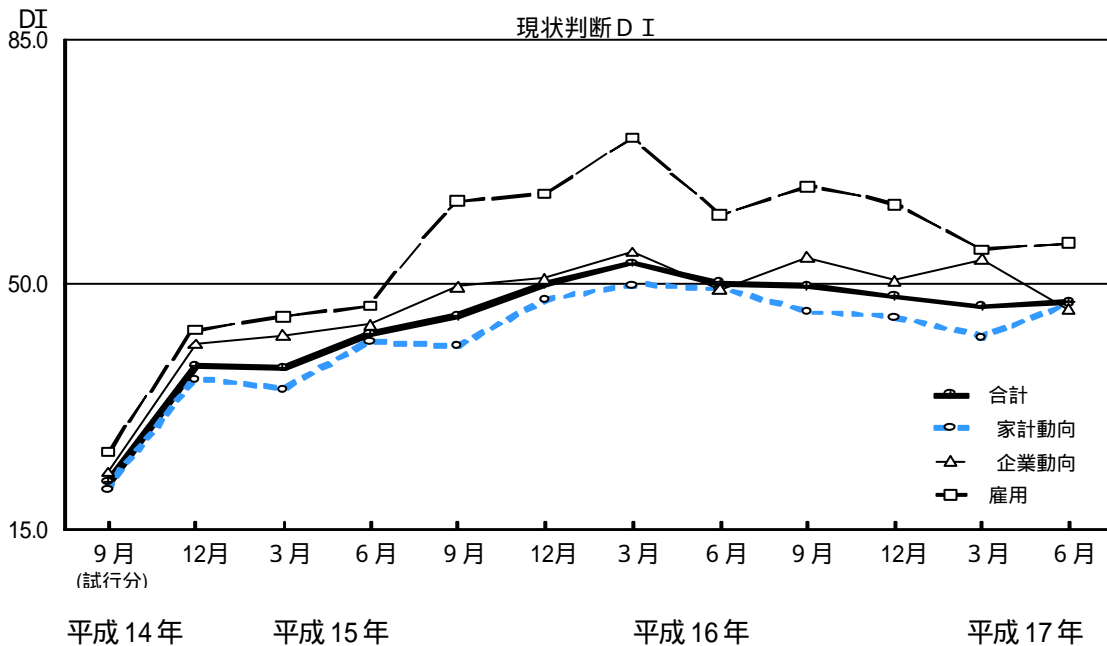
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年	平成17年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		50.3	49.9	48.3	46.9	47.7
家計動向関連	家計動向関連	49.3	46.0	45.3	42.5	47.1
	小売関連	49.6	48.4	45.1	45.4	47.7
	飲食関連	43.4	50.0	41.7	36.8	50.0
	サービス関連	48.7	42.6	46.2	40.1	44.4
	住宅関連	63.9	50.0	47.2	52.8	61.1
企業動向関連	企業動向関連	49.4	53.9	50.6	53.6	46.5
	農林水産業	34.4	50.0	42.9	46.4	43.8
	製造業	49.5	51.6	50.5	53.6	45.8
	非製造業	53.3	58.6	52.6	55.2	48.3
雇用関連		60.0	64.0	61.5	55.0	56.0

表1-2 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成16年 6月	2.5%	26.9%	44.1%	22.2%	4.3%
平成16年 9月	0.7%	24.9%	52.3%	17.4%	4.6%
平成16年 12月	1.8%	25.3%	43.0%	24.2%	5.8%
平成17年 3月	3.2%	18.7%	45.6%	27.6%	4.9%
平成17年 6月	0.3%	21.0%	53.5%	19.6%	5.6%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



## (2) 景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは、「悪くなっている」の回答構成比が増加したため、3月調査分から1.4ポイント減の48.7となり、横這いを表す50を下回った。業種別にみみると、雇用関連DIが3月調査分を上回り、家計動向関連DIが横這い、企業動向関連DIが3月調査分を下回った。

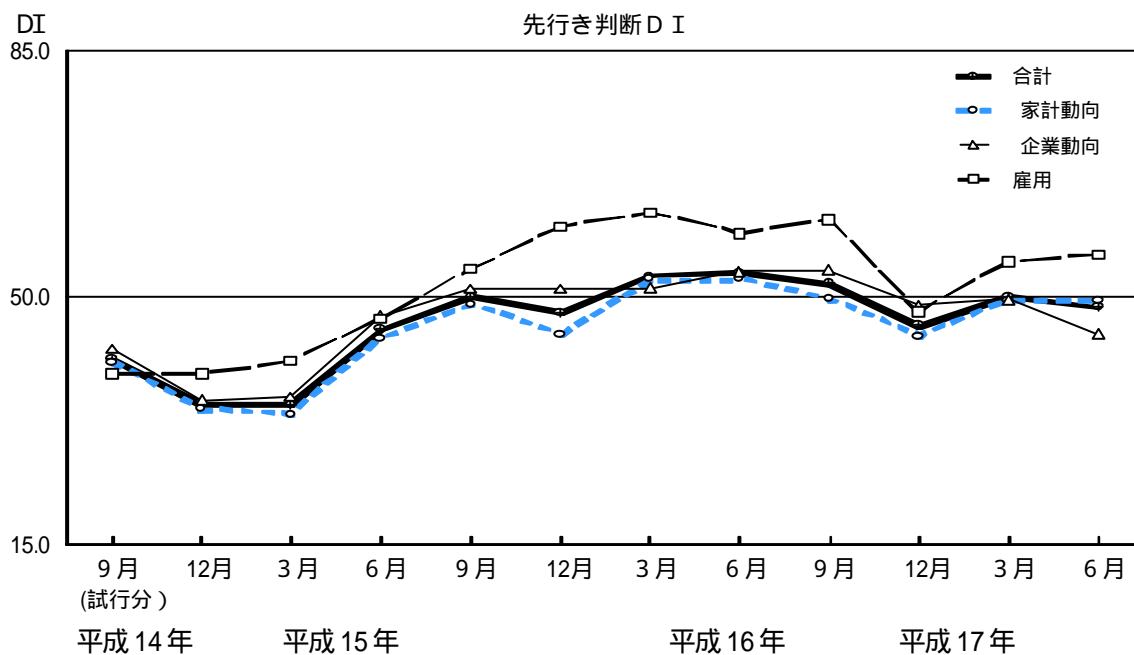
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年	平成17年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		53.5	52.0	46.0	50.1	48.7
家計動向関連	家計動向関連	52.6	49.7	44.4	49.6	49.6
	小売関連	54.0	51.6	46.2	48.2	50.8
	飲食関連	43.4	52.5	40.3	46.1	48.7
	サービス関連	53.5	48.5	43.6	51.6	47.8
	住宅関連	55.6	40.6	47.2	50.0	58.3
企業動向関連	企業動向関連	53.6	53.9	48.8	49.7	44.8
	農林水産業	50.0	50.0	53.6	53.6	50.0
	製造業	48.9	53.6	48.4	47.9	39.6
	非製造業	61.7	55.2	48.3	51.7	51.7
雇用関連		59.0	61.0	47.9	55.0	56.0

表1-4 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成16年 6月	3.2%	24.0%	59.1%	10.8%	2.9%
平成16年 9月	0.7%	27.0%	55.5%	12.8%	3.9%
平成16年 12月	0.7%	14.4%	57.8%	22.4%	4.7%
平成17年 3月	2.5%	19.8%	56.5%	18.0%	3.2%
平成17年 6月	1.4%	17.1%	61.2%	15.4%	4.9%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



## 2 地域別の動向

### (1) 景気の現状判断DI

#### 県北地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは45.2であり、3月調査分と比べて2.4ポイント上回ったものの、引き続き横這いを表す50を下回った。また、DI値は全県を通じて最も低かった。業種別にみると、家計動向関連DI及び雇用関連DIが3月調査分を上回ったが、企業動向関連DIが3月調査分を下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年	平成17年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		48.7	50.4	42.4	42.8	45.2
	家計動向関連	47.8	45.1	38.6	36.5	42.1
	企業動向関連	45.6	57.4	47.1	52.9	47.1
	雇用関連	65.0	65.0	56.3	55.0	60.0

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成16年 6月	1.8%	23.2%	50.0%	17.9%	7.1%
平成16年 9月	1.7%	22.4%	56.9%	13.8%	5.2%
平成16年12月	0.0%	10.7%	53.6%	30.4%	5.4%
平成17年 3月	0.0%	10.2%	57.6%	25.4%	6.8%
平成17年 6月	0.0%	19.3%	49.1%	24.6%	7.0%

#### 県央地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは47.8であり、3月調査分と比べて0.5ポイント上回ったものの、引き続き横這いを表す50を下回った。業種別にみると、家計動向関連DI及び雇用関連DIが3月調査分を上回ったが、企業動向関連DIが3月調査分を下回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年	平成17年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		52.2	47.7	49.1	47.3	47.8
	家計動向関連	48.6	42.1	45.1	42.9	46.4
	企業動向関連	56.3	53.3	55.0	56.7	43.8
	雇用関連	65.0	70.0	60.0	50.0	70.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成16年 6月	0.0%	32.1%	46.4%	19.6%	1.8%
平成16年 9月	1.8%	23.6%	45.5%	21.8%	7.3%
平成16年12月	1.8%	25.0%	46.4%	21.4%	5.4%
平成17年 3月	5.5%	14.5%	47.3%	29.1%	3.6%
平成17年 6月	1.8%	19.6%	50.0%	25.0%	3.6%

### 鹿行地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは52.1であり、3月調査分と比べて6.6ポイント上回り、全県を通じて唯一横這いを表す50を上回った。業種別にみても、家計動向関連DI及び雇用関連DIが3月調査分を上回ったが、企業動向関連DIが3月調査分を下回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年	平成17年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		50.9	52.2	52.3	45.5	52.1
家計動向関連		50.0	46.5	45.8	40.3	51.3
企業動向関連		51.8	61.7	62.5	56.7	50.0
雇用関連		55.0	65.0	70.0	50.0	65.0

表2-6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成16年 6月	1.9%	27.8%	46.3%	20.4%	3.7%
平成16年 9月	0.0%	35.7%	41.1%	19.6%	3.6%
平成16年12月	3.6%	34.5%	32.7%	25.5%	3.6%
平成17年 3月	3.6%	17.9%	42.9%	28.6%	7.1%
平成17年 6月	0.0%	28.8%	52.5%	16.9%	1.7%

### 県南地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは45.7であり、3月調査分と比べて4.7ポイント下回り、横這いを表す50を下回った。業種別にみても、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが3月調査分を下回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年	平成17年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		53.9	50.0	47.8	50.4	45.7
家計動向関連		54.4	49.3	49.3	48.6	47.1
企業動向関連		50.0	50.0	44.1	50.0	44.4
雇用関連		65.0	55.0	50.0	65.0	40.0

表2-8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成16年 6月	5.3%	33.3%	35.1%	24.6%	1.8%
平成16年 9月	0.0%	19.3%	63.2%	15.8%	1.8%
平成16年12月	0.0%	28.6%	41.1%	23.2%	7.1%
平成17年 3月	5.2%	27.6%	36.2%	25.9%	5.2%
平成17年 6月	0.0%	19.0%	56.9%	12.1%	12.1%

### 県西地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは47.8であり、3月調査分と比べて0.8ポイント下回り、横這いを表す50を下回った。業種別にみても、家計動向関連DIが3月調査分を上回ったが、企業動向関連DI及び雇用関連DIが3月調査分を下回った。



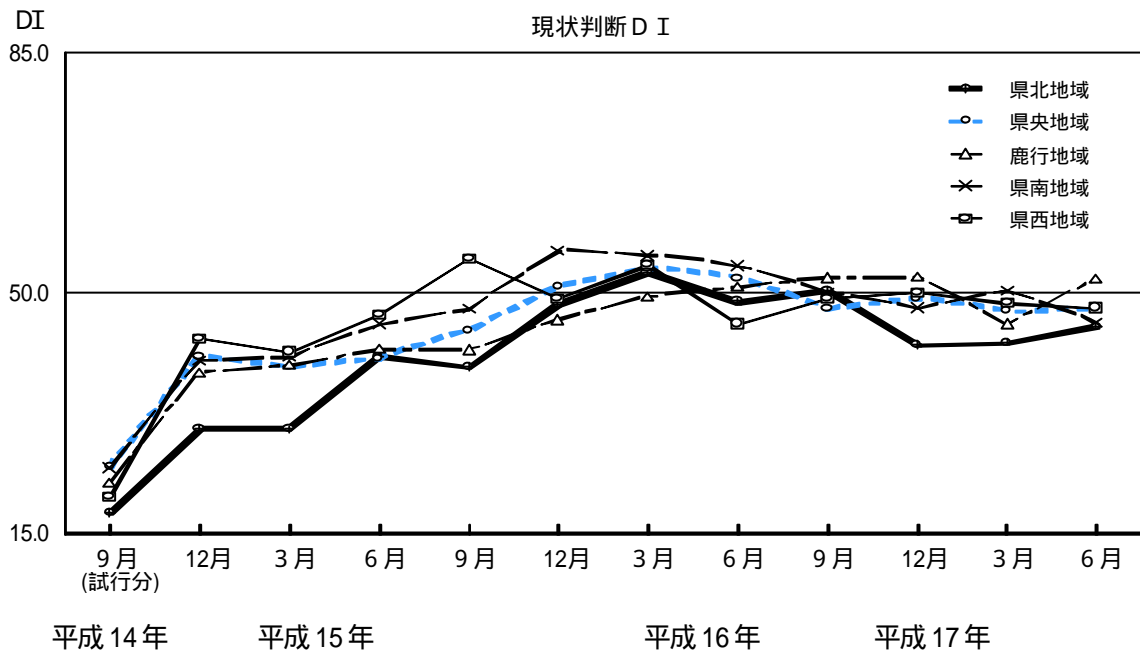
表2 - 9 景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年	平成17年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		45.5	49.1	50.0	48.6	47.8
家計動向関連		45.3	46.9	48.3	45.2	48.4
企業動向関連		44.7	48.6	47.4	52.6	47.4
雇用関連		50.0	65.0	70.0	55.0	45.0

表2 - 10 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成16年 6月	3.6%	17.9%	42.9%	28.6%	7.1%
平成16年 9月	0.0%	23.6%	54.5%	16.4%	5.5%
平成16年12月	3.7%	27.8%	40.7%	20.4%	7.4%
平成17年 3月	1.8%	23.6%	43.6%	29.1%	1.8%
平成17年 6月	0.0%	17.9%	58.9%	19.6%	3.6%

図2 - 1 地域別現状判断DIの推移



(2) 景気の先行き判断DI

県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは46.1であり、3月調査分と比べて0.3ポイント上回ったものの、引き続き横這いを表す50を下回った。また、DI値は県南地域と並んで全県を通じて最も低かった。業種別にみても、家計動向関連DI及び雇用関連DIが3月調査分を上回ったが、企業動向関連DIが3月調査分を下回った。

表2 - 11 景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年	平成17年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		50.0	53.4	43.8	45.8	46.1
家計動向関連		50.0	52.1	40.7	45.9	46.4
企業動向関連		48.5	54.4	47.1	44.1	42.6
雇用関連		55.0	60.0	56.3	50.0	55.0

表2 - 12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成16年 6月	0.0%	21.4%	60.7%	14.3%	3.6%
平成16年 9月	0.0%	25.9%	63.8%	8.6%	1.7%
平成16年12月	0.0%	7.1%	66.1%	21.4%	5.4%
平成17年 3月	1.7%	10.2%	59.3%	27.1%	1.7%
平成17年 6月	1.8%	8.8%	64.9%	21.1%	3.5%

### 県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは52.7であり、3月調査分と比べて2.2ポイント上回り、横這いを表す50を上回った。また、DI値は全県を通じて最も高かった。業種別にみても、家計動向関連DI及び雇用関連DIが3月調査分を上回ったが、企業動向関連DIが3月調査分を下回った。

表2 - 13 景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成16年 6月	平成16年 9月	平成16年 12月	平成17年 3月	平成17年 6月
	合計		55.8	51.4	48.7	50.5
	家計動向関連	53.6	48.6	46.5	52.1	55.0
	企業動向関連	59.4	55.0	53.3	45.0	43.8
	雇用関連	60.0	60.0	50.0	55.0	65.0

表2 - 14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成16年 6月	3.6%	28.6%	57.1%	8.9%	1.8%
平成16年 9月	0.0%	25.5%	56.4%	16.4%	1.8%
平成16年12月	3.6%	12.5%	62.5%	17.9%	3.6%
平成17年 3月	1.8%	14.5%	72.7%	5.5%	5.5%
平成17年 6月	5.4%	19.6%	60.7%	8.9%	5.4%

### 鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断DIは50.4であり、3月調査分と比べて4.5ポイント下回ったものの、横這いを表す50を上回った。業種別にみても、雇用関連DIが横這い家計動向関連DI及び企業動向関連DIが3月調査分を下回った。

表2 - 15 景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成16年 6月	平成16年 9月	平成16年 12月	平成17年 3月	平成17年 6月
	合計		50.5	51.8	44.5	54.9
	家計動向関連	49.3	47.9	41.0	51.4	51.3
	企業動向関連	51.8	58.3	53.6	61.7	45.3
	雇用関連	55.0	60.0	45.0	60.0	60.0

表2 - 16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成16年 6月	1.9%	22.2%	55.6%	16.7%	3.7%
平成16年 9月	0.0%	33.9%	44.6%	16.1%	5.4%
平成16年12月	0.0%	14.5%	56.4%	21.8%	7.3%
平成17年 3月	5.4%	26.8%	51.8%	14.3%	1.8%
平成17年 6月	0.0%	25.4%	54.2%	16.9%	3.4%

県南地域

3か月先の景気の先行き判断DIは46.1であり、3月調査分と比べて6.1ポイント下回り、横這いを表す50を下回った。また、DI値は県北地域と並んで全県を通じて最も低かった。業種別にみても、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが3月調査分を下回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年	平成17年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		56.1	51.8	44.6	52.2	46.1
	家計動向関連	58.1	50.0	47.1	51.4	46.4
	企業動向関連	50.0	52.8	39.7	52.8	47.2
	雇用関連	65.0	60.0	45.0	55.0	40.0

表2-18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成16年 6月	7.0%	24.6%	56.1%	10.5%	1.8%
平成16年 9月	1.8%	26.3%	54.4%	12.3%	5.3%
平成16年12月	0.0%	17.9%	46.4%	32.1%	3.6%
平成17年 3月	1.7%	29.3%	46.6%	20.7%	1.7%
平成17年 6月	0.0%	17.2%	58.6%	15.5%	8.6%

県西地域

3か月先の景気の先行き判断DIは48.2であり、3月調査分と比べて0.9ポイント上回ったものの、引き続き横這いを表す50を下回った。業種別にみても、家計動向関連DI及び雇用関連DIが3月調査分を上回ったが、企業動向関連DIが3月調査分を下回った。

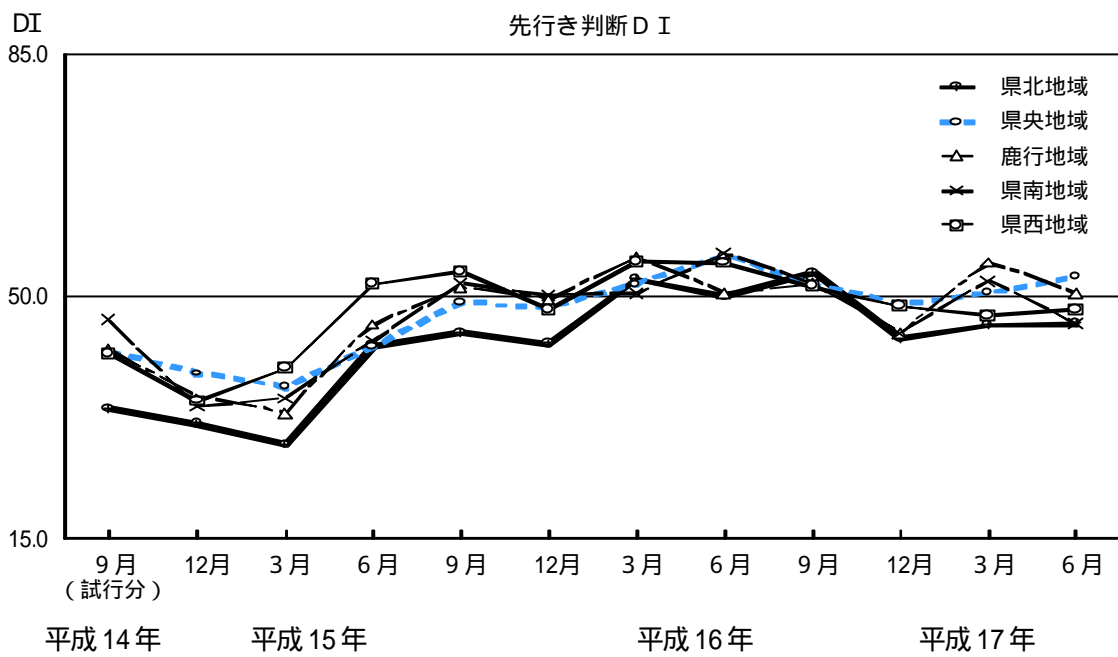
表2-19 景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年	平成17年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		54.9	51.4	48.6	47.3	48.2
	家計動向関連	52.3	50.0	47.5	46.8	48.4
	企業動向関連	57.9	50.0	51.3	46.1	44.7
	雇用関連	60.0	65.0	45.0	55.0	60.0

表2-20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成16年 6月	3.6%	23.2%	66.1%	3.6%	3.6%
平成16年 9月	1.8%	23.6%	58.2%	10.9%	5.5%
平成16年12月	0.0%	20.4%	57.4%	18.5%	3.7%
平成17年 3月	1.8%	18.2%	52.7%	21.8%	5.5%
平成17年 6月	0.0%	14.3%	67.9%	14.3%	3.6%

図2 - 2 地域別先行き判断DIの推移



### 3 回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	286 人	95.3%
県北地域	60 人	57 人	95.0%
県央地域	60 人	56 人	93.3%
鹿行地域	60 人	59 人	98.3%
県南地域	60 人	58 人	96.7%
県西地域	60 人	56 人	93.3%

# 景気の判断理由

## 1 景気の現状判断理由

### (1) 県北地域

( - : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。 )

回答区分	分野	業種・職種	理 由	
良くなっている	-	-	-	
やや良くなっている	家計関連	居酒屋	客単価の伸びは依然として低いですが、客数は昨年度よりも伸びている。営業努力もあるが、徐々に景気が回復してきていると感じる。	
		居酒屋	伊勢甚デパートの閉店セールがあったため、客足が伸びた。	
		ゴルフ場	ゴルフシーズンに入り、来場者が増加している。プロショップや売店の売上げも好調に伸びている。	
		理・美容店	最近の健康・美容志向から、本業の美容サービスより、化粧品等の販売収益の方が増加している。	
	企業関連	製造業（食品）	株価、黒字決算、雇用状況等から判断して、景気好転の兆しが見られる。	
		製造業（電気機械器具）	製造している商品が春向けのため、6月頃までは忙しい。	
		製造業（輸送用機械器具）	北米及び中国市場における、自動車販売が好調なため、生産物量の増加は継続している。	
		製造業（電気機械器具）	生産台数がアップしている。	
	雇用関連	学校就業関係者	高校生の求人が多く、就職率が良い。また、技術・技能向上を図るセミナーに社員を参加させる企業が増えている。	
		人材派遣業	受注が増えてきている。	
変わらない	家計関連	スーパー	客1人あたりの単価や、商品1点あたりの単価は、ほぼ横這いであり、目立った購買意欲の変化は見られない。	
		スーパー	食品や一般衣料は価格低下に伴い売上げが減少しているが、ファッション衣料や電化製品は売上げが伸びている。消費額は横這いと考える。	
		スーパー	買物の仕方を見ても、客からの意見・要望を聞いても、購買意欲に大きな変化は感じられない。	
		自動車販売店	新車市場は、前年並の台数である。	
		農産物直売所	客の購入高平均単価に変化がない。	
		ガソリンスタンド	景気は低位で安定しているように思う。県北地区の商業はホームセンター等大型店に客を取られ振るわず、工業も一部を除いて不振である。消費者も依然として買い控えの傾向が続いている。	
		小売業（靴製品）	3ヶ月前と比べて、客の買物の仕方が変化していない。	
		スナック	店で酒を飲む回数自体が減っているうえ、客単価も段々落ちていく。	
		観光型ホテル	例年、春先は客足が落ちるが、今年は特に連休明けの落込みが顕著だった。周りの旅館も苦戦しているようである。	
		旅行代理店	客単価が上昇しない。	
		タクシー運転手	昼間の近距離利用者は少し増えたが、夜間の飲食店からの呼び出しは逆に減少している。	
		ドライブイン	梅雨入りすると、食品の保存がきかないので、まとめ買いする客が減少し、客単価が下がる。	
		パチンコ店	客足が伸びていない。	
		レジャー施設	団体客の客単価が低い。	
	住宅販売会社	住宅展示場への来場者数に大きな変化はない。住宅ローンの金利動向に関心を寄せる客も、住宅取得を急いでいる客も少ない。		
	企業関連	製造業（一般機械器具）	好転要因、悪化要因のどちらも見当たらず、当分は現状で推移するものと思われる。	
		製造業（一般機械器具）	作業量が変化していない。地元企業の景気に比例して、商店街にも活気がない。様々なイベントも縮小されているように思う。	
		製造業（電気機械器具）	受注状況に変化がない。	
		非製造業（建設業）	県北地区は商品の動きが少ないと、様々な業種の営業担当者が、口を揃えて言っている。	
		非製造業（建設業）	公共工事は受注件数が依然として少なく、民間工事も大きな動きはないようである。	
		非製造業（金融業）	受注・売上げが増加した、又は減少したという話は聞かない。3月頃と同じ状況が続いている感じがする。	
		非製造業（不動産業）	集客力が落ち込んでおり、不動産市場は依然として低迷状態が続いている。夏のボーナスが支給されても、百貨店の閉店等もあり、商店街には活気が感じられない。	
		非製造業（情報処理サービス）	景気は徐々に良くなっていくと思っていたが、原油価格高騰等の影響もあり、ほぼ横這い状態だと思う。	
	雇用関連	求人開拓員	求人は増えているが、リストラの結果不足した部門での補充に過ぎないと思われる。	
		求人広告	依然として、求人を検討している企業が少ない。	
		公共職業安定所	製造業からの求人は減少傾向が続く一方で、建設業からの求人は増加している。受注が伸びた企業でも、業績改善が伴わない場合もあり、求人状況は企業により格差がある。概ねの業種において、昨年末以降、求人数の減少が続いている。	
	やや悪くなっている	家計関連	商店街代表者	年度当初は、それなりに活気があったが、最近ではそれも落ち着いてしまった感がある。
			小売業（酒類）	連休明けは、客の財布のヒモが一層固いように感じる。消費者の価値観の多様化が進み、小売業は益々専門化を求められている。
			小売業（土産物）	ガソリンの値上がりによって、コストが高くなっているが、客足減少を懸念して値上げができず、採算がとれない。
			レストラン	伊勢甚デパートの閉店セールの影響で、周辺店舗では一時的に客足が伸びたが、業界としてはあまり芳しくない。
食堂			伊勢甚デパートが閉店したことで、客数とともに地元の魅力も減少したように思う。	
観光型ホテル			5月以降は、年度末の忙しさが一段落するうえ、農繁期や梅雨に入るため、客数は減少している。	
観光型ホテル			繁忙期にもかかわらず、利用者数が減少し、収益減となった。	
タクシー運転手			平日の病院、買物、会社関係の利用が減少している。土日祝日は更に仕事が少ない、待機時間が長い。飲食店利用客の減少に伴い、夜間の仕事も少なくなっている。	
ゲームセンター			伊勢甚デパートの閉店やその後の状況から、県北地域の景気は落ち込み気味で、依然として回復感はない気がする。	
企業関連			林業関係者	原木価格が下落している。
		製造業（電気機械器具）	新年度に入っても、景気が回復する材料がないように思う。但し、業種によって多少の波があると感じる。	
		製造業（電気機械器具）	例年決算月である3月前に、受注・納品が集中するので、それに比較すると悪化しているが、前年比ベースで推移している。	
		製造業（電気機械器具）	3ヶ月前と比較して、売上げが低下している。	
悪くなっている		家計関連	タクシー運転手	連休後、客足の落ち込みが激しい。地元企業のメイン工場でも経費が削減され、今後数年間は厳しい情勢だと聞いた。
	タクシー運転手		大口顧客の利用で、長距離が激減した一方、初乗り区間の利用が増加している。	
	クリーニング店		例年であれば、衣替えで忙しい時期だが、今年は春先から続く低温のため、客数、客単価ともに低迷している。	
	企業関連	水産業関係者	茨城県漁業の主流である小型船漁業は、3年連続の不漁が続いている。これに連動して、工場閉鎖や休業を余儀なくされる水産加工業者も多数見受けられる。金融機関の貸し渋りもあり、地元漁港では3ヶ月前と比較して明らかに景気が悪化している。	

## (2) 県央地域

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答区分	分野	業種・職種	理 由
良くなって いる	家計関連	建築設計事務所	今まで設備投資を控えていた大手企業が、過去に入手し建設を見合わせていた土地の活用を始めた。
やや良くな っている	家計関連	スーパー	近隣スーパーとの価格競争により、若干だが買上点数が伸びているように思う。
		専門スーパー	連休中は来店者も多く、特にガーデニングや日曜大工関係の商品が良く売れた。また、工事業者の購入も多かった。
		タクシー運転手	4～5月は歓迎迎い絡みの客を乗せる機会が多かったが、今年は新入社員を採用した企業が増えたように思う。6月は、4月頃と比べれば売上げは落ちているが、前年対比では収益も上向きである。
		ドライブイン	観梅時期に次ぐ準観光シーズンのため、団体・一般客ともに少しずつ増加している。
		レジャー施設	1人あたりの土産品購入単価が若干上昇している。
	企業関連	非製造業（建設業）	建築物件は増加傾向にあるが、高齢者関係の施設がそのほとんどを占めているように感じる。
	非製造業（不動産業）	前年同時期と比べて、来店客数が増加している。	
雇用関連	求人開拓員	製造業の受注量、飲食店や建設業の求人数が、微増ながら目立っている。	
	求人広告	水戸市近辺に大型店舗の出店、飲食店やスーパーのオープンが相次いだことにより、新たな人と金も回り始め、景気の回復になっていると思う。	
	公共職業安定所	管内4月の事業所業況調査では、業況が「普通から好調」と回答した企業が7割を超えた。業況DIも4.1ポイント改善している。また、雇用保険受給者実人員は25ヶ月連続で減少しており、雇用調整助成金の申請は平成15年度よりない。	
	学校就業担当者	昨年の同時期と比べて、学生の就職内定の出足が良くなっているように思われる。	
変わらない	家計関連	商店街代表者	市町村合併も一段落したが、期待した程の需要拡大効果はなかったように思う。
		商店街代表者	春になっても、明るい兆しが見られない。景気が立ち直る要素がないまま、市場原理に従った厳しい状態が続いている。
		百貨店、総合スーパー	客数、客単価とも、前年とほぼ同様に推移している。
		百貨店、総合スーパー	衣料品（婦人服）の購買行動がシビアになっている。以前は、1～2ヶ月後に着用するものを先買していたが、最近では着用予定の直前に購入する傾向が強い。
		専門スーパー	昨年と比べ、売上げは伸びているが、天候の影響が大きく、景気状況の判断が難しい。
		自動車販売店	決算期が終わり、4～5月の売上げは厳しかった。ボーナス時期を迎え、売上げ改善を期待しているが、大きくは変わらないように思う。
		農産物直売所	暦や天候に恵まれ、5月の売上げは良かったが、客数に対し客単価は低くなっている。
		スーパー	客単価が上がらない。
		レストラン	連休中は、ホテル宿泊もレストラン利用も、例年のような家族連れの姿が減少した。6月は総会時期であり、会議室利用は例年と同程度で推移しているが、会議時に会食するケースは少なくなったように思う。
		都市型ホテル	景気が良い業種もあるようだが、全体的には大きい変化はないように思う。ホテル業界も、依然として厳しい状況が続いている。
		観光型ホテル	連休中の客数は前年並みだったが、今年は県外（主として栃木県や埼玉県）からの低価格バスツアー客が目立った。
		旅行代理店	客数も増減なく、景気が良くなっている実感がない。
		ゲームセンター	アミューズメント業界としての景気は、やや良くなっているようだが、赤塚駅前に新たなマーケットが生まれ、水戸駅界隈や国道50号沿線は、若干ダメージを受けたように思われる。
		理・美容店	普段の仕事や客の様子からは、特に景気の変化を感じないが、周辺では閉店した店が目立ち、この辺りも寂れてきたという話をよく聞く。
	住宅販売会社	客と話していて、仕事が忙しくなり、残業も増えたが残業代はあまり付かない、という声を聞くようになった。	
	企業関連	製造業（出版・印刷業）	官公需あるいは団体等からの受注が継続しているので、景気は3ヶ月前とあまり変わらない。
		製造業（出版・印刷業）	3月は1年を通しての最盛期なので、前回調査時と比べて景気が良くなっているとはいえませんが、悪化もしていないと思われる。
非製造業（輸送業）		企業は、物流拠点の統廃合、人員削減等のリストラを続けている。原油高に伴う原材料のコスト増を製品単価に転嫁できないため、総体的な収益に変化はない。	
非製造業（金融業）		大手企業の決算は良好との報道があったものの、地方都市の消費・設備投資までは至っておらず、商店や事業所等の売上げも横ばい状態である。	
非製造業（広告代理業）		企業の広告宣伝経費に大きな増減はない。求人広告の出稿数に対して応募者数が少ないため、企業側の採用がうまくいかないケースが多いと聞く。	
非製造業（情報処理サービス）	業種により差はあるが、平均すると景気に変化はない。		
やや悪くな っている	家計関連	スーパー	近所に大型の商業施設が出来たことにより、週末の来店客数が激減した。
		スーパー	競合店の出店により、苦境を強いられている。
		コンビニエンスストア	商品の販売状況に改善がみられない。
		コンビニエンスストア	客の消費動向が改善していない。
		都市型ホテル	3ヶ月前より、客の動きが鈍化しているように思われる。
		タクシー運転手	駅構内での仕事が減少している。電車が着いても、客が降りてこない。企業の出張と忙しいサラリーマンが減少しているように思われる。
		タクシー運転手	卒業・入学や、梅・桜の花見時期が過ぎ、今は静かな時期に入っている。
		タクシー運転手	様々な業種の乗車客と接するが、景気が良くなっているという話は聞かない。
		観光名所	観光シーズンとなり、人出は例年より若干増で推移しているが、売上げは逆に落ちている。依然として、消費者の財布のヒモは固いようである。
		ゴルフ場	4～6月は、特別優待サービスが適用されないため、プレー予約の申込み件数が減少している。
企業関連	パチンコ店	連休中の集客がおちたこともあり、自店集客が落ちた。	
	製造業（一般機械器具）	3ヶ月前は、決算期のため売上げも順調だったが、その反動で5月以降は売上げが伸び悩んでいる。	
悪くなっ ている	製造業（一般機械器具）	決算期の駆け込み受注により、大幅に売上げが伸びた3ヶ月前と比較すると、数字では悪化しているが、前年の同月よりは良くなっている。	
	製造業（食品）	消費者動向は低調で、商品がほとんど動かない。	
		製造業（土石製品）	工場の稼働率が大幅に落ちている。

## (3) 鹿行地域

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答区分	分野	業種・職種	理 由
良くなっている	-	-	-
やや良くなっている	家計関連	スーパー	売上げ、客単価とも伸びている。イベントや催事の参加者が多かったためか、弁当発注や特別注文をする客が増加している。
		家電販売店	売上げが少々伸びている。
		専門スーパー	微増ながら、買上点数や客単価が増加している。
		観光型ホテル	宿泊者の予約が、前年より少し増加している。
		タクシー運転手	全国植樹祭やあやめ祭りの開催があり、6月は仕事が増加している。
		タクシー運転手	あやめ祭りの開催に伴い、客が多くなっている。
		洋食食堂	駐車場の拡張、案内板や外灯の設置等、店舗周辺の改装により、売上げが増加した。
		割烹料理店	6月はあやめ祭りが開催されるため、週末の観光客や、企業の接待客等の増加が期待できる。
		住宅販売会社	連休中は顧客の動きが活発だった。また、全国植樹祭に皇族が出席したこともあり、地域全体で気分が高揚している感がある。低金利で内容の良い住宅ローン商品が増えた。
	ドライブイン	メロンの価格が、前年比1.5倍にもかかわらず、売行きが好調である。	
	企業関連	製造業(食品)	行楽シーズン、観光イベント等により、多少売上げが増加した。
		製造業(飼料製造)	製品の出荷数量に改善の兆しが見え始めた。原材料の値動きも比較的安定しており、収益環境は悪くない。
	雇用関連	民間職業紹介業	徐々にではあるが、求人依頼件数が増加している。
学校就業関係者		鉄鋼業界の景気が良くなっており、中途採用者を募集している。	
求人開拓員		良い人材がいれば、との条件が付くが、採用に前向きな事業所が以前より増加している。	
変わらない	家計関連	商店街代表者	景気は回復していると思われるが、客のニーズの変化が早く、的確な対応ができない。
		商店街代表者	年度末頃、周囲に上向きの話が多かったのは、期待感の表れであり、実際には一般の中小企業の景気は改善していないと思う。
		小売業(酒類)	春先以降は比較的晴天続きで、生鮮食品や、果実、飲料、惣菜、酒等の売上げは好調だった。反面売上げが低調な部門もあるため、全体としては3ヶ月前と変わっていない。消費者に購買意欲はあるものの、商品を選択して無駄な買物はしないという意識があり、大量販売には結びついていないようである。
		コンビニエンスストア	売上げの伸びは特に変わらない。
		農産物直売所	必要数量しか購入しない客が多い。
		スーパー	景気が持ち直しているという報道があるが、現実の生活ではそういった実感はない。消費者の購買意欲も店の売上げも、相変わらず横這いな感じがする。
		自動車販売店	自動車の販売台数は、前年と同程度で推移している。客の消費マインドは依然として堅実だが、代金回収時に金払いが悪いということもないので、景気は好転も悪化もしていないように思う。
		小売業(薬品店)	買い控えの傾向が、まだまだ根強い気がする。
		書店	雑誌、書籍、コミック本は大型店やコンビニで、文具や事務用品は100円ショップや通販で購入する客が増えているため、売上げが伸びない。
		タクシー運転手	売上げ金額に変化がない。
		タクシー運転手	景気の良い話を聞かない。
		観光名所職員	以前は、旅行をすると土産品を沢山買い込む人が多かったが、今は必要な分だけを購入する傾向があるように見える。また、中高年と若い年代では、金の使い方も違っているようである。
		ゴルフ場	客数があまり変わらない。
		パチンコ店	客の来店頻度に変化が見られない。
		パチンコ店	売上げや客数に変化はない。競合店でも同様と見られる。
		室内装飾業	客数があまり変わらない。
		サービス業	年度が変わっても、特に大きな変化はない。
		住宅販売会社	展示場への来場者数は増加しているが、将来不安のため思い切れず、購買につながっていない。特に、建替え年代の40~50代に積極的な購買意欲が見られない。
		企業関連	農業関係者
	製造業(印刷業)		良くなった、悪くなったという実感が無い。
	製造業(化学工業)		相変わらず原油は高値のままだが、生産量が増加傾向にあるため、総体的には変わらないと思われる。
	製造業(窯業・土石製品)		公共事業や民間工事の伸び悩みに影響され、セメントメーカー等の低迷が続く一方で、製品価格の改善もあまり見えないため、売上高の好転には至っていない。
	製造業(食品)		客数も売上げもあまり変わっていない。
	製造業(金属製品)		鉄鋼業に関しては、タイトな生産状況が続いており、収益も好調で推移している。
	製造業(化学工業)		原材料価格の高騰をカバーするため、利幅を減らして、従来の製品価格を維持している感があり、先行きは不透明である。
	非製造業(金融業)		一部に好転している業種もあるが、全体的に消費は冷え切ったままである。家電製品等の売上げが大型量販店に集中する等、一極集中化の傾向が見られる。中小零細企業では、資金繰りに忙しい状態が続いている。
	雇用関連	人材派遣業	製造業は、堅調に高生産を維持している。スーパー等も大幅な伸びはないものの順調に維持しているようである。
		公共職業安定所	求人・求職の状況にあまり変化がない。
	やや悪くなっている	家計関連	小売業(金物店)
商店街代表者			原油高騰に伴う資材の値上がりや、農産物価格の低下により、収入の減少が見込まれる。
スナック			例年、連休明けは客足が遠のくが、今年は例年よりも客数が減少しているような気がする。
観光型ホテル			当施設における、客の消費単価が減少している。
小売業(菓子販売店)			客単価が上がらない。
理・美容店			梅雨入りし、雨天日が多くなるので、客が外出を渋り客足も遠くなっている。
クリーニング店			3ヶ月前は年度末ということもあり、残業が多く忙しかったが、現在は残業もたまにしかなくなった。
企業関連		製造業(電気機械器具)	仕事量が減少しているように思う。
		非製造業(輸送業)	新規貨物が獲得できず、既存荷主の新展開も困難な状況である。ドライバーの情報でも、仕事が少なく暇だという。
		非製造業(不動産業)	出入り業者の話では、3月以降に取引件数が急速に減ったということだった。
悪くなっている	家計関連	日本料理店	3ヶ月前は歓送迎会の利用が多かったが、最近は利用件数が減っている。

## (4) 県南地域

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答区分	分野	業種・職種	理 由	
良くなっている	-	-	-	
やや良くなっている	家計関連	商店街代表者	各店舗とも売上げが増加しており、やや景気が好転しているように感じる。	
		スーパー	売上げが前年比を上回る月が続いている。和牛等の高額商品の売行きが好調である。	
		衣料品・身の回り品販売店	客数が、昨年同月と比較して上回ってきた。	
		小売業(各種食料品)	つくばエクスプレス建設工事の関係で、客数、客単価が伸びている。	
		都市型ホテル	ショッピングセンターが近郊にオープンする等、人の動きが活発になっており、景気は良くなっているように思う。	
		旅行代理店	前年と比較して、出足は決して早くないが、ようやく客足に動きが出てきたように思われる。	
		レジャー施設	天候にも恵まれ、4月、5月とも客足が好調であり、特に連休中は例年になりに忙しさを覚えた。	
	理・美容店	4-5年前より、高齢者向けの料金プランを提案しており、利用者に好評である。客単価も順調に伸びている。		
	企業関連	製造業(金属製品)	近所のファミリーレストランで、客足が伸びているように思う。	
非製造業(建設業)		毎年のことだが、年度末は受注が多く忙しい。その反動で、5-9月にかけては受注減が続く。コンスタントに受注できるよう努力しているが、つくば地区での受注は順調である。		
非製造業(不動産業)		不動産投資信託の投資対象となる、好立地の利回り物件(マンション用地)の成約が目立っている。特に、首都圏の業者が購入するケースが多い。		
変わらない	家計関連	スーパー	客数は、前年比と同程度で推移している。税込表示になってから1年が経過しているが、価格を据え置き、実質消費税分の値引きを行っても、買上点数は伸びていない。	
		スーパー	依然として、客単価及び買上点数が伸びていない。必要なものをメモして、それ以外のものを買わないという傾向は変わっていない。	
		コンビニエンスストア	客の購買意欲が大きく変わったとは感じない。高くても必要な商品は売れるし、安くても無駄なものは売れない。	
		コンビニエンスストア	客数、単価とも変化なし。昨年の同時期と比較すると、春先の天候不順の影響でやや悪化している可能性もある。	
		自動車販売店	季節的な車の売れ方が変わっていない。ボーナスの話題を振っても、芳しい応えがない。	
		農産物直売所	春先と比較して、野菜の価格が下がったこともあり、売上げの伸びは昨年とほぼ同様で推移している。客数にも大きな変化はない。	
		農産物直売所	3ヶ月前と変わったところがない。客数、客単価とも同程度で推移している。	
		専門スーパー	必要以上の物を買う客が少ない。よって、売上げ的にも目立った上昇がない。	
		洋食食堂	5月に飲食店経営者の交流会を開き、意見交換を行ったが、皆あまり情勢は良くないようである。特にアルコールがメインの店は苦戦しているようだった。来店客や友人の話を聞いても、かなり生活を切り詰めて出費を抑えているようである。一方で、当店では帰りに際し、タクシーや運転代行を利用する客が目立っている。	
		洋食食堂	先日、広告・宣伝・印刷業関係の社長が来店した際、相変わらず不景気だと話していた。一方、主婦層の客足は落ちていないものの、注文するのは決まって1番安いランチメニューなので、仕事量が多い割に客単価が上がらない。	
		都市型ホテル	宿泊に関しては、歓送迎会の時期でもあり、3-4月は多少良くなっていったが、5月以降やや悪化している。宴会・会議については、良くなってきているように思われる。	
		タクシー運転手	景気が上向いているというが、現在はまだ、料金支払いに万札は少なく、千円札が多い。	
		タクシー運転手	1日の営業回数に変化がない。当然、売上げも同程度で推移している。	
		ゴルフ場	予約状況は、昨年と比べて大きな変化がない。	
	ゴルフ場	シーズンインし、特に5月は客足が伸びたが、4月の落ち込みが大きかったため、3月と比べて良くなっているとは言いがたい。		
	ゲームセンター	ショッピングセンターの集客力低下が続いていたが、最近になってその傾向が鈍化しているように思う。アミューズメントの売上げも上がってきている。		
	理・美容店	3-5月に、親類・友人・近所と連れ立って結婚式に行くという話を、以前より聞かなくなった。髪をセットアップして外出する機会が減少しているように思う。		
	住宅販売会社	住宅展示場への来客数は、連休中もあまり伸びなかった。		
	建築設計事務所	仕事量が減少傾向にある。		
	企業関連	農業関係者	土木作業にも従事している農家の人達から、仕事がないと耳にすることが多い。	
		製造業(食品)	やや良くなりつつあるが、大きくは変わらないと思う。	
		製造業(食品)	県南地区では、建設工事を目にする事が多く、地元の景気が改善しているように感じられるが、実際に工事を行っているのは、大半が大手の建設業者である。地元で金が落ちていないので、消費動向にも変化はないと思われる。	
		製造業(食品)	月によって変動があり、平均すると変わらない。	
		製造業(コック/製造業)	競争入札機会の増加に伴い、見積り件数は増えたものの、受注件数には変化がない。	
		製造業(一般機械器具)	生産量の増減はあるものの、全体的な仕事量はほぼ横這いである。	
		非製造業(建設業)	大規模な設備投資より、5-20万円程度の小規模な管轄工事が多い。受注単価の大幅引きや、手形による支払いに加え、ガソリンの高騰が、益々経営を苦しめている。	
		非製造業(輸送業)	全体的に見て、貨物の動きは変わっていないが、在庫は多少減っている。輸送量も減少傾向にある。	
	雇用関連	非製造業(金融業)	企業倒産は横這いである。	
		人材派遣業	広告効果があり、以前より登録者が増えたもの、顧客先からの値引き要求が強くなっているため、収益的に相殺されている。	
		雇用相談員	スーパー等の来店客数、買上単価に大きな変化は見られず、現状で推移するものと思われる。運輸関係では、荷動きは増加しているが、燃料高で収益が圧迫されている。また、土木関係は公共事業の減少により低迷が続いており、建設関係は個人住宅建設の回復が思わしくない。輸出関連企業及び製造業(食品)等は、順調に推移している。	
公共職業安定所		求人数はやや改善して推移しているようだが、景気は依然として横這い状態である。		
やや悪くなっている	家計関連	スーパー	客の1点単価及び買上点数が下がっている。	
		寿司店	女性がパートタイムで働いているためか、趣味サークル等では、シルバー男性の参加者が目立って多くなっている。	
		和食食堂	サラリーマンや会社関係の客が減っているうえ、客単価も低いため、売上げが減少している。	
		旅行代理店	愛知万博など、昨年比に売上げが伸びる要因はあったが、実績が伴わない。特に4-5月は客数も取扱額も減少した。また、テナントで入居しているショッピングセンターの客も減少しているように思う。	
	企業関連	製造業(食品)	売上高の減少、販売単価の低下に伴い、製品値下げの要請があった。	
		製造業(食品)	原油価格の高騰、中国経済の影響で、石油化学製品、金属機械部品の市場で、値上げの動きが続いており、製造原価のアップにつながっている。	
		非製造業(建築設備業)	決算期ということもあり、3月までは忙しかったが、4月からは受注が減ってきている。	
	悪くなっている	家計関連	ガソリンスタンド	湾岸戦争以来の原油高にも関わらず、客に配慮し、価格転嫁ができないため、ここ数ヶ月は厳しい経営状態が続いている。
			タクシー運転手	1ヶ月平均の売上げが、税抜きで35万円程度に落ちている。
タクシー運転手			特に連休中は売上げが落ち、1日の売上げが1万円に満たない日もあった。	
タクシー運転手			平日1日の営業回数が12-13回どまりである。土日祝祭日は1日の売上げが1万円に満たない。	
企業関連		非製造業(建設業)	大きな仕事の受注がなく、細かい仕事ばかりで採算が合わない。顧客からも、景気が悪化しているとの声が多く聞かれる。	
雇用関連	求人広告	求人募集が減ってきた。		



## (5) 県西地域

( - : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。 )

回答区分	分野	業種・職種	理 由	
良くなっている	-	-	-	
やや良くなっている	家計関連	衣料品専門店	周辺の農家では、キャベツやレタス、トマト等の春野菜を出荷したばかりなので、羽振りが良さそうに見える。	
		農産物直売所	贈答用のメロンやトウモロコシの売行きが好調なので、若干景気が良くなってきているように感じる。	
		洋食食堂	多数ではないが、デザート注文が増加しているため、客単価が上がっている。	
		寿司店	年度切替時期は歓迎会等で団体客が多かった。6月に入り、ボーナス支給等で余裕の出た個人客の消費が増加している。	
		ゴルフ場	3月までは降雪の影響で前年比割れが続いたが、4月のシーズンインとともに客足は持ち直した。特に連休を含む5月は、比較的天候にも恵まれ、単月としては記録的な売上げとなった。	
		理・美容店	客数や仕事量は現状維持に近いが、梅雨入りや気温の上昇と共に、景気が上向きを感じる。	
		建築設計事務所	企業の生産拡大に伴う設備投資が活発となり、機械設備の購入が促進されている。これに伴い、早急な施設の新築や増改築が増えている。	
	企業関連	製造業（一般機械器具）	仕事量は増加している。見積りの際、単価をある程度落とせば、仕事を獲得するのは容易な状況である。	
	雇用関連	公共職業安定所	新規求人件数の伸び、特に中小企業からの求人増が顕著である。また、新規求職者も減少傾向にある。	
変わらない	家計関連	商店街代表者	市町村合併が決まっても、住民負担が増加しそうな情報ばかりで、明るいムードにはなっていない。	
		スーパー	客の買上単価、買上点数が伸びない。	
		専門スーパー	客数、買上点数ともに大きな変化がない。良くも悪くもなっていないように思う。	
		和食レストラン	客単価が3ヶ月前とあまり変わっていない。	
		都市型ホテル	客と話していても、良くなった又は悪くなったという声を聞かない。客単価や売上げも例年とあまり変わらないように思う。	
		旅行代理店	年度の切替え時期ということもあり、動きが感じられない。	
		タクシー運転手	毎年のことだが、3月の送別会、4月の歓迎会、5月の連休などの要因がない16月は、ボーナスが出始めるまでは、売上げの低迷が続く。	
		タクシー運転手	客数、客層、乗車距離等に大きな変化はない。また、商店街の活気や夜間の飲食店の様子もあまり変わらないように思う。	
		ドライブイン	ここ数年、日帰り旅行が多くなり、旅行慣れた客は、なかなか財布のヒモを緩めない。以前なら、1,000円の商品が良く売れたが、今は500円の商品が売上げの主流になっている。客単価は年々低下しているように思う。	
		ゴルフ場	客層にあまり変化がない。	
		ゲームセンター	売上げの減少傾向に歯止めがかかってきていると感じる。ショッピングセンターでも、これ以上、集客や売上げが落ちることは少ないと思われる。	
		レジャー施設	連休後、夏休み前の6月は、観光客が若干減少する時期である。梅雨入りとも重なり、客足に大きな動きはないように思われる。	
		企業関連	農業関係者	販売品の価格が低迷している。
	農業関係者		農産物価格が低値で安定しており、農家の経営状態は従前とあまり変わらない。	
	製造業（食品）		原油高に伴い、燃料や包装資材等のコストが値上がりしているが、その分を製品価格へ転嫁できないため、経営に苦慮している。	
	製造業（印刷業）		得意先の不動産会社で、宅地分譲の売出しチラシを新聞折込したが、あまり効果がなく、「もうチラシ折込での宣伝広告は止めるか」という発言も出た。また先週、身近な小規模建設業者が自己破産した。何とか頑張っている中小企業や商店には、依然として厳しい経営環境が続いている。	
	製造業（石材業）		墓石製造業の生産加工は、ほとんど停止状態である。	
	製造業（石材業）		石材業界では、5～6月は谷の時期だが、経営努力と、粗悪な中国製品の代替発注により、今年最高の売上げを計上することになりそうである。	
	製造業（化学工業）		半導体関連企業の在庫調整が終わり、通常であれば生産増に向かうはずだが、その兆候が見られない。	
	製造業（金属製品）		仕事の量等は、あまり変わらない。	
	製造業（電気機械器具）		あまり変化が見られない。	
	製造業（印刷業）		過度に値引きした営業活動の結果、印刷業界ではデフレ傾向が止まる様子はなく、収益の悪化が続いている。	
	非製造業（建設業）		自動車関連や流通関連など、一部の業界を除き、変化は感じられない。	
	非製造業（不動産業）		3ヶ月前と比べて変化はない。しかし客数・契約数とも、今年は各月、昨年よりも上回っている。	
	非製造業（コカクノ業）		ほとんど変化していない。	
	雇用関連		求人広告	製造業・運送業ともに、仕事量が増加したという話を聞かない。
			学校就業関係者	求人状況には大きな変化はないが、電話等による短期労働者の募集はかなり増えている。
			就職相談員	失業率が下がっているようだが、就職相談の現場では大きな変化はない気がする。
	やや悪くなっている	家計関連	スーパー	今年1月頃から、1人あたりの買上点数が減少傾向にある。一部の企業からは景気の良い話が聞かれるものの、一般の中小企業ではそのような話は少ない。所得の減少に伴い、財布のヒモを引き締めているのではないかと推測される。
自動車販売店			販売台数から見ても、景気はやや下降している。	
ガソリンスタンド			石油製品の高騰により、4月頃より、消費者の買い控えが目立つようになった。	
都市型ホテル			例年この時期は売上げが落ちるうえ、客に節約ムードがあり、客数、客単価ともに下がっている。	
タクシー運転手			例年、歓迎会等の時期が過ぎ、陽気が良くなってくると、仕事が暇になる。	
タクシー運転手			配車依頼も減り、飲食店街の客足も鈍く、タクシー業界には活気が見られない。収入も月毎に減少している。乗車客からも景気の良い話は聞かなくてこない。	
ドライブイン			農産物等の生活必需品は売れているが、土産物等、直接生活に必要なものは、売行きが良くない。	
理・美容店			昨年の同時期に比べ、客数が減少している。	
製造業（食品）			原材料の高騰が続いているため、製造コストが上昇する一方である。	
非製造業（広告業）			年度末、連休というピークを超えて、業界全体が一段落している感じである。	
悪くなっている			家計関連	クリーニング店
	雇用関連	人材派遣業	例年3～5月は仕事が少ない。3ヶ月前と比べると、約15%も売上げが減少する。	

## 2 景気の先行き判断理由

### (1) 県北地域

( - : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。 )

回答区分	分野	業種・職種	理由
良くなっている	家計関連	観光型ホテル	夏休み期間中の仮予約や問い合わせが多数入っており、客数の大幅増を見込んでいる。
やや良くなっている	家計関連	スーパー	天候に左右される分野（食品、一般衣料等）は、冷夏予想のため売上げが減少するものの、自分に投資する分野（ファッション衣料、旅行、医薬品等）については、売上げが増加すると見込んでいる。トータルでは消費は改善傾向にあると思われるので、あとは企業の努力やアイデアが収益アップの鍵になるのではないかと。
		居酒屋	系列のフード・レストラン各店舗でも、客数が増加しており、今後も景気は悪い方向にはいかないと思う。
		観光型ホテル	夏を控え、6月以降は予約が結構入っており、景気は上向いていると感じる。
	企業関連	水産業関係者	暖流の接岸傾向によって、シラスの出現があれば、現在シラスは全国的に品薄状態のため、一気に景気回復を望むことも可能である。
雇用関連	学校就業関係者	社員教育に力を入れる企業が増加しており、資格取得や社内研修の問い合わせが多くなっている。	
変わらない	家計関連	商店街代表者	回復する要因がないため、商店街の客足は落ち込んだままと予想される。
		スーパー	客単価や1点単価については、横這いの状態が数ヶ月続いているが、景気を上向ける外的要因が見当たらない。
		スーパー	客の購買傾向が良くなる材料が見当たらない。
		衣料品専門店	ボーナス支給が、即売上げにつながると思えない。
		自動車販売店	自動車展示場への来客数に変化がない。
		農産物直売所	大型スーパーの安売り日等には、客足が落ちているので、今後3ヶ月先も大きく景気は変化することはないと思われる。
		小売業（靴製品）	10数年前は、夜間に飲食する客数と店数のバランスがとれていたが、今は客数より店数の方が多いような気がする。
		スナック	来店した客から、仕事がないという話をよく聞く。料金の設定にも気を使わざるを得ない状況である。
		居酒屋	新しいデパートの開店が9月下旬になる見通しのため変化はないと思われる。
		観光型ホテル	予約状況からみて、今後の収益に大きな変化はないと思われる。
		タクシー運転手	乗車客との会話の中に、先行きの明るい話題が出てこない。
		タクシー運転手	配車をただ待っているだけでは売上げを増やすことは難しい。運転手各人が接客対応や運転技術等の向上に努めることが必要ではないか。
		ドライブイン	気温が上昇すると、農産物のまとめ買いが減少する。夏場ならではの食品は順調に売上げると思うが、夏野菜は自家栽培する家庭も多いので、売上げが大きく伸びることはないと予想される。
		ゴルフ場	季節的にコンペは増えているが、予約状況では3ヶ月先もあまり変化がない。
	パチンコ店	今後、客足が伸びる要素がない。	
	レジャー施設	定期昇給の見送り、ボーナスカット等、暗い話題は多いが、良い見通しとなる材料が見当たらない。	
	理・美容店	朝夕に営業時間を延長したり、料金やサービスを細分化することで、客数の増加を図り、客単価の減少分を補っている。	
	理・美容店	客の流れに変化が感じられない。	
	企業関連	製造業（食品）	商品の売行きは好調だが、価格の下落傾向が止まないので、景気は変わらないと思われる。就業状況では改善が見られる。
		製造業（一般機械器具）	受注量が変わらない。県北地域は、地元企業の影響が大きいため、企業の景気が良くなると、街の景気も変わらないと思う。
		製造業（電気機械器具）	原材料の購入価格がやや値下げ傾向になってきたとはいえ、受注量に大きな変化はなく、短期間での景気回復は難しいと思われる。大手企業の関連会社にボーナスが支給されたので、これにより個人消費が高まることを期待したい。
		製造業（電気機械器具）	今期中は業績見通しが厳しい。
		製造業（電気機械器具）	県北地区では、まだ景気動向が安定しておらず、3ヶ月先の見通しは不透明である。
		非製造業（建設業）	現状で、止むを得ないと思っている人が多いように感じられる。
		非製造業（建設業）	受注件数は増加するように感じるが、資材高騰等の要因を加味すると、収益は横這いだと思う。
		非製造業（金融業）	地域全体で、設備が強化されている様子もなく、受注・売上げともに特に変化がないと思われる。
		非製造業（不動産業）	不動産業界には、景気が良くなる要因が見当たらない。市場低迷は暫く続くと思われる。
非製造業（情報処理サービス）		しばらくは、景気横這いの状態が続くと思われる。	
雇用関連	求人開拓員	デジタル関連の生産調整が発生するため、継続的な景気上昇とは思えない。	
	求人広告	雇用が安定しなければ、個人消費は増加しないと思う。	
	公共職業安定所	例年夏場は、新規求人数が減少する時期である。企業側は、現在の経済情勢を踏まえて厳しい見方を崩しておらず、今後求人状況が大幅に改善するとは思えない。	
やや悪くなっている	家計関連	ガソリンスタンド	原油の高騰と元売りの締め付けにより、各店舗では、十分な儲けを価格に転嫁できていない。値上がり分を利益で吸収できない産業では、景気が悪化してゆくのではないかと。
		小売業（酒類）	収入面が改善されないため、必要以外のお金を使わない傾向が伺える。
		食堂	個人食堂は、大手外食チェーンや弁当販売店に押され、出前の注文等も減少している。
		タクシー運転手	年度末と違い、催事が少ない時期なので、売上げ増は期待できない。
		タクシー運転手	夜の飲食店客が減少しているうえ、運転代行の利用者が増加しているため、売上げが伸びない。業界内で、買収や閉鎖の話もあり、先行きが益々厳しくなるように思われる。
		ゲームセンター	今後、大型店が水戸市近郊にできると、客の流れが県央方面に向かうと予測され、県北地区商業の空洞化が危惧される。
		クリーニング店	冷夏予想もあり、今後大きく客数、客単価が増加するとは考え難い。
	企業関連	林業関係者	原木価格の下落は当分続くことが予想され、下げ止まりはまだ先と考えられる。
		製造業（電気機械器具）	金属や樹脂等の材料価格の値上がり止まらない。ガソリン価格の高騰も続いており、今後景気はやや悪くなると予想される。
		製造業（輸送用機械器具）	メーカーの値下げ要請が続く中、鉄鋼に加え銅、更には原油高に伴う樹脂等の値上げも重なり、収益悪化の傾向が強まると思われる。
製造業（電気機械器具）	現在の生産がピークで、後は落ち込むと予想している。		
悪くなっている	家計関連	レストラン	10数年前は、夜間に飲食する客数と店数のバランスがとれていたが、今は客数より店数の方が多いような気がする。
	企業関連	製造業（電気機械器具）	受注先の業務量から想定して、7~8月は極端に作業量が減少すると思われる。

## (2) 県央地域

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答区分	分野	業種・職種	理由
良くなっている	家計関連	観光型ホテル	夏場は、家族連れ予約が入っており、売上げ増が期待できる。季節感を演出した独創的な料理で、一層の集客を担いたい。
		建築設計事務所	顧客の中には、今年度予算が昨年比数倍の企業もある。1件あたりの工期が10ヶ月程度かかるので、上半期は忙しい。
	雇用関連	人材派遣業	受注が増えてきている。
やや良くなっている	家計関連	商店街代表者	つくばエクスプレス開業に伴う県内企業の動向を注視したい。県内経済全体への波及効果を期待している。
		専門スーパー	原油高も落ち着いてきて、客との会話でも、先を悲観するような話は少なくなった。通常の夏が来てくれれば景気もやや良くなると思われる。
		ゴルフ場	7月以降は、特別優待サービスの適用が受けられるので、予約も増加すると予想している。
		パチンコ店	ボーナスの支給に期待している。
		ゲームセンター	夏以降にヤング・アダルト向けの新商品が発売されれば、幹線道路沿いの店舗は、活況を呈すると予測される。
		住宅販売会社	顧客層は、金の無い30代前半、金はそこそこだが慎重な30代後半、資金の豊富な定年組が多い。回復傾向にあると言われる夏のボーナスによって、客の購買意欲が高まることを期待したい。
	企業関連	製造業(一般機械器具)	主要な顧客が積極的に設備投資を行っており、その影響で徐々に引合いが増加している。6月に投入する新製品の効果にも期待したい。
		非製造業(輸送業)	最近、倉庫利用の引き合いが増加している。
	雇用関連	求人広告	パートやアルバイトが多いが、求人数は増加傾向なので、今まで仕事や収入の無かった人達の消費活動に期待できるのではないかと。
	変わらない	家計関連	商店街代表者
百貨店、総合スーパー			百貨店内のテナントが入れ替わることで、多少の顧客流動が見込まれるが、総体的な売上げは変わらないと思われる。
百貨店、総合スーパー			店側からのアプローチがないと、売上げはすぐに落ち込んでしまう。売上げ実績を上げるには、チラシやDM、電話等により、顧客1人1人に合わせたパーソナルな提案を行うことが、これまで以上に重要だと思われる。
コンビニエンスストア			天候、気温次第だが、昨年の状況を考えれば、良くなるとは考えにくい。
コンビニエンスストア			昨年は猛暑で売上げも好調だったが、今年は景気が今よりも良くなるとは思えない。
専門スーパー			変化が感じられない。
自動車販売店			原油価格の高騰、ガソリン価格の高値安定等の影響が、これから徐々に出てくるのではないかと心配している。
農産物直売所			ボーナス支給額のアップ等、特別な要因がなければ、顧客・商品の動きに変化はなく、現状維持の状態が続くと思われる。
スーパー			客数は前年並で推移しているが、買上点数が前年を大きく下回っている。
レストラン			宴会での1人あたりの単価は上がっていない。また、一部の企業では、新入社員の採用が増加していると聞いたが、まだ全体的な流れではないと思う。今のところ、景気が変動する兆しを感じない。
都市型ホテル			3ヶ月先に好転する材料が見当たらない。
都市型ホテル			宴会の予約、レストランの利用状況を見ても、昨年をやや下回っているため、この先も大きくは伸びないと思う。
旅行代理店			夏を控え、個人客が1番動く時期だが、予約状況はあまり変わらない。
タクシー運転手			保険料や年金負担の増等、将来の不安が拭えない状況では、金が一般消費に回らないため、身近に景気回復の兆しは見えない。
タクシー運転手			様々な業種の乗車客と接していても、景気が上向く材料が見受けられない。
タクシー運転手			売上げには時期的な波があるものの、乗車客の声を聞く限りでは、当面景気が大きく変わることはないように思う。
ドライブイン			一般客は、夏休み後に一時期客足が落ちると予想されるが、その後も団体客の予約が入っているため、概ね大きな変化はないと思われる。
観光名所			1年のうちで、最も天候に左右されやすい時期である。梅雨が長引いたり、猛暑となれば入出も少なくなる。冷夏の方が客足の伸びは期待できる。
レジャー施設			天候次第だが、7~8月頃に出費が増えると、反動で9月頃の出費が抑えられる傾向があるので、総体的には変わらないと思われる。
理・美容店		市内大手デパートの完成が予定されているが、完成すれば人通りや街の活気が戻ってくると思われる。	
企業関連		製造業(出版・印刷業)	顧客からの受注は結構あるものの、請負価格の下落・低値安定傾向は変わらず、労力に対して収益が上がらない。
		製造業(一般機械器具)	作業量も多くない状態で、落ち着いてしまった感じがする。
		非製造業(建設業)	最近、会社清算や自己破産等、倒産を迎える前に自主廃業するケースを多く見受けける。市場は縮小しているが、業者数も減っているので、業界全体の景気は変わらないと思う。
		非製造業(金融業)	地方都市の商店や企業は、大手企業のように業績が回復している訳ではないため、大規模な設備投資等を見込むことは難しい。
		非製造業(広告代理業)	景気が悪いという感覚があまりない。必要なもののみを購入し、無駄な支出を控える傾向が続いているだけではないかと思う。今のところ、悪化する理由が見当たらない。
		非製造業(情報処理サービス)	例年夏場は市場の動きが鈍化するうえ、ガソリン高騰の影響が更に大きく市場を冷やしている。
雇用関連		求人開拓員	製造業・建設業とも受注は増加しているが、利幅が少ない状況である。
	公共職業安定所	有効求人倍率が前年同月比26ヶ月連続で改善しており、雇用情勢に明るさが見えるが、今後希望退職者を募る事業所もあると聞いている。	
	学校就業担当者	現在の上向き傾向が、一時的なものか継続するのかを判断するのは難しい。	
やや悪くなっている	家計関連	スーパー	近所に出来た大型商業施設への有効な対抗手段がなかなか見つからない。
		タクシー運転手	乗車客からは、景気は上向いていると聞けるが、タクシー業界としては上向く気配を感じない。
		理・美容店	商店会員も次々に閉店している。商店街の貸店舗に入居しているのは、スナックや酒屋等僅かになってしまった。
	企業関連	製造業(金属製品)	新規見積りや問い合わせがない。
悪くなっている	企業関連	製造業(食品)	店舗での客の購買活動が鈍い。
		製造業(出版・印刷業)	受注単価の下落が相変わらず継続しているうえ、時期的に発注量が少ないと予想される。
		製造業(土石製品)	受注が確保できていない。

## (3) 鹿行地域

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答区分	分野	業種・職種	理 由	
良くなっている	-	-	-	
やや良くなっている	家計関連	商店街代表者	賞与の支給も順調、雇用も改善されているように思う。	
		スーパー	余暇を楽しむ客が増加していると思う。	
		小売業(酒類)	天候が安定して、昨年並みの暑さが続けば、飲料や酒、果実等の売上げを確保できるため、比較的容易に売上げ目標を達成できると思われる。	
		自動車販売店	取引先の企業からも、仕事が忙しくなっているという話を聞いている。また、平日の特にトラックの交通量が増加しているため、今後景気は回復してくると思う。	
		専門スーパー	一部の季節品は天候に左右されるが、全体的に売上げは上昇すると推測される。	
		観光型ホテル	予約が増えてきている。	
		洋食食堂	店舗辺りの整備やメニュー替え等により、来客数は前年比2~5%アップしている。	
		割烹料理店	7月以降は、スポーツ大会の開催や、学生等の合宿により、関係者の利用が多数見込まれる。	
		理・美容店	概ね客の利用周期は2ヶ月程度なので、現在減少気味の客足も、3ヵ月後には戻ってくると予測される。	
		室内装飾業	新築物件が夏にかけて販売されるため、これに伴う売上げを期待している。	
	ドライブイン	米や果物の売行きが好調なので、このまま夏まで推移すると予想される。		
	企業関連	製造業(食品)	中元ギフトシーズンに入るため、売上げ増に期待している。	
	雇用関連	公共職業安定所	新卒者(平成18年3月卒)の就職活動が早い。	
		学校就業関係者	求人数の増加が期待される。	
変わらない	家計関連	小売業(金物店)	鹿行地区では、9月以降に複数の市町村合併を控えているので、業界全体で模様眺めの感がある。	
		商店街代表者	基幹産業が農業であり、農産物価格の低下による農家収入の減少が商店街の売上げ減少につながると思われる。	
		商店街代表者	景気は、現状で落ち着いた感じがする。	
		コンビニエンスストア	店舗の場所柄、収益変動の最大の要因は、海浜観光客の動向であるが、昨年を上回る気温上昇や好天気は期待できないので、景気に大きな変化はないと思われる。	
		農産物直売所	客の購入単価が増加する要因がない。	
		小売業(薬品店)	大企業の業績回復の影響が、中小企業にまで感じられない。	
		書店	地元商店街の集客力が落ちているので、その中にある店舗で売上げを増やすのは難しい。	
		スナック	梅雨入りや夏季休暇により、景気が多少良くなるのではないかと期待している。	
		観光型ホテル	予約状況に変化はない。	
		小売業(菓子販売店)	良くなる要因が見当たらない。	
		タクシー運転手	現状のまま、改善しないと思われる。	
		タクシー運転手	一部には景気が良さそうな会社関係者も見受けられるが、客数、客単価には大きな変化はないと思われる。	
		観光名所職員	今後、急激な変化はないように思われる。	
		ゴルフ場	企業の接待ゴルフは依然として少ない。	
		パチンコ店	地域産業に変化の兆しがなく、景気のよし悪しを判断するのは難しい。	
		サービス業	全体的には変化がないと思われる。	
		住宅販売会社	全国植樹祭やあやめ祭りの後、集客力のある催事がない。また、ガソリン価格の高騰に伴い、家計を引き締める家庭が多いと思われる。	
		住宅販売会社	住宅取得に対する税制面等の対策がないため、将来への不安から、なかなか購買への踏み切りがつかないのではないか。	
	企業関連	農業関係者	農産物市場において、供給が過剰になりすぎ、価格の低迷が続いている。	
		製造業(印刷業)	良い話も悪い話も、あまりない。	
		製造業(窯業・土石製品)	鉄鋼大手は、業績好転に伴い夏季ボーナスも高水準で支給されるようだが、原材料価格の高騰は必至であり、設備投資にも慎重な構えである。よって、関係会社においても従前どおりコスト改善に努める方針であり、景気はあまり変わらないと思われる。	
		製造業(金属製品)	当分の間、良好な状態が続くと思われる。	
		製造業(電気機械器具)	仕事量は現状のまま、秋口まで推移すると思われる。	
		製造業(飼料製造)	大きな環境変化は見込めないが、現状は維持されると思う。	
		非製造業(住宅設備施工業)	今のところ、見積物件が少ないため、景気に変化はないと思われる。	
		非製造業(金融業)	先行きの不透明感から、消費が伸びるとは考え難い。また、サラリーマン等の可処分所得の減少が、消費低迷に拍車をかけていると思われる。	
		非製造業(不動産業)	客の購買力が向上していないので、急に良くなるとは考えにくく、景気は大幅には変わらないと思われる。	
		雇用関連	人材派遣業	製造業は全般的に、国内向けを中心に好調な様子だが、下請け・孫請け業者などは単価の切下げによるしわ寄せが懸念される。
	民間職業紹介業		求人・求職とも、大きく変化はないように感じる。	
	求人開拓員		求人開拓先の企業担当者の話では、仕事量としては先の見込みがあるものの、業務単価が厳しく採算が取れないため、仕事を選ばざるをえないとのことだった。	
	やや悪くなっている	家計関連	スーパー	ガソリン価格の高騰に伴うコスト増が懸念される。
			スーパー	原油価格の高騰により、商品価格への影響が出るのではと心配している。
			タクシー運転手	あやめ祭りが終了すると、観光客も減少するので、また仕事が減ってくると思われる。
タクシー運転手			6月末であやめ祭りが終了すると、観光客が減少するので、仕事も減ると見込まれる。	
パチンコ店			新規店の参入等が今後予定されているが、地区としての客数は変化しないので、客が分散するだけの結果になることが懸念される。	
クリーニング店			周辺の農家は、春先から続く天候不順のため、作物の生長に不安を感じているようである。	
企業関連		製造業(化学工業)	石油やガソリンの価格が最近再び高騰しており、今後も高騰することが予想される。	
	製造業(食品)	暑くなってくるので、売上げは減少すると思われる。		
	製造業(化学工業)	原油価格は先行きが見えず、利益面の予測が難しい。		
悪くなっている	家計関連	日本料理店	夏場は、春先のように人が集まる機会が少ないので、客足が鈍くなる。	
	企業関連	非製造業(輸送業)	冷夏の予想があるため、飲料水や農産物、その他夏季関連貨物の動向が気になる。	

## (4) 県南地域

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答区分	分野	業種・職種	理 由
良くなっている			
やや良くなっている	家計関連	スーパー	飲食関係の業者から悲観的な声が聞かれなくなった。また、客の購買点数も若干増加している。
		ガソリンスタンド	ここに来て、原油高も安定の気配が見えてきた。このまま安定すれば、業界の景気も幾分良くなると思う。
		小売業(各種食料品)	つくばエクスプレスの開業までは、現在の売上げ増は続くと思う。
		都市型ホテル	つくばエクスプレスの開通等により、沿線の経済活動が活性化され、県南地区の景気は大きく変わると思われる。
		旅行代理店	夏休みや秋の行楽シーズン等、年間を通じて一番大きく客が動く時期なので、収益アップを期待している。既に問い合わせも増加している。
	企業関連	製造業(一般機械器具)	仕事量に大きな変化はないものの、新製品発売による売上げ増を期待している。
		非製造業(建築設備業)	受注や見積り件数が増えている。
		非製造業(輸送業)	今後3ヶ月は、季節貨物の輸送のため、貨物の入庫は増加する見込み。但し、9月以降は減少もしくは横這い状態になると予想される。
		非製造業(不動産業)	不動産投資信託と若年層の購買ニーズは今後も順調に見込まれる。また、社宅や物納物件の売却も増加傾向にある。
	雇用関連	雇用相談員	依然として原油高が続いており、これが企業全体のマイナス要因となっている。今後の景気は、原油価格の影響を受けつつも、少しずつ好転するものと思われる。
変わらない	家計関連	商店街代表者	つくば市周辺には、人が集まり景気が良くなっているように見えるが、県南地区の景気が回復するには、もう一つインパクトがないように思う。
		スーパー	今年は昨年よりも1品単価が低い予想が出ているが、単価が下がっても、買上点数の増にはつながらないので、大きな変化はないと思う。
		スーパー	昨年の夏は、飲料やギフト等単価が高いものが良く売れたが、今年は冷夏予想のため、普通に商売をしていては、昨年より売上げが減少する可能性が高い。ボーナス支給等、消費拡大への明るい要素もあるので、トータルで昨年と同程度の売上げを期待している。
		コンビニエンスストア	家計の所得が大きく変われば、売上げも伸びると思われるが、現在のところそのような気配はない。
		コンビニエンスストア	ボーナスの支給額や夏場の天候、気温等に左右されるので、判断は難しいが、景気が好転する要素は見当たらないように思う。
		衣料品・身の回り品販売店	客単価が低下しているため、客数が増加しても、売上げは昨年と同程度になると予想される。
		自動車販売店	よくなる話題も、悪くなる話題もない。
		農産物直売所	野菜の価格や米の需要は、天候に大きく左右されるため、見通しが立て難い。
		農産物直売所	米、麦の収益は、天候・作柄・価格の様子から見て、昨年とほぼ同程度と見込まれる。
		専門スーパー	必要以外の物を買わないという消費傾向が、変わる気配を感じない。
		洋食食堂	つくばエクスプレスの開業により、一時的に人の流れが変わると思われる。
		洋食食堂	固定客ばかりで、新しい客層が伸びない。周辺に新規開店したレストランが多く、クーポンや値引き等により、客の取り合いになっている。
		和食食堂	夏場の天候によっては、改善の見込みも悪くないが、例年と比べて大きな変化はないと思う。
		都市型ホテル	宿泊・宴会・会議において、現在の予約状況から見ると、売上げの大幅な増加は期待できないと思われる。
		旅行代理店	昨年は、人気のあるプランなら料金が高くても集客できたが、今年は金額の安いプランに客が集中している。
		タクシー運転手	乗車客からのチップが皆無に等しい。
		タクシー運転手	飲食店に活気がないうえ、運転代行の利用者が多いため、営業回数は増加することはないと思われる。
		ゴルフ場	予約状況は昨年と比べて大きく変わらないが、接待と思われる週末の客が増加傾向にある。
		ゴルフ場	予約の入り状況からは、大きな変化はないように思われる。
		ゲームセンター	個人の嗜好が多様化しているのか、大きな売上げが期待できるゲームマシンが少なくなっている。今後も、売上げの変化は少ないと思われる。
	理・美容店	店主が高齢化し、後継者が育っていない個人店では、積極的な経営戦略が持てず、守りの体制を取らざるを得ない。美容業界に限らず、個人店では同様の課題があるのではないかと。	
	住宅販売会社	今後3ヶ月で変わる要因がない。	
	建築設計事務所	問い合わせ、見積り依頼がない。	
	企業関連	農業関係者	市場は、安くて良いものを求めているが、それに応えようとする農家がシワ寄せを受けてしまい、農家経済に明るい兆しは見えない。
		製造業(食品)	売上高は伸びつつあるが、利益率が低下しているため、景気はあまり変わらない。
		製造業(食品)	特に良くなる要素が、今後発生しないと思われる。
		製造業(食品)	原油価格は下がる傾向にあるが、楽観視できる程ではないと思われる。
		製造業(コックリ製造業)	時期的に、公共事業の発注が少ないので、大きな変化はないと思われる。
		製造業(金属製品)	急激な変化を起こす要因がない。
		非製造業(建設業)	6~7月はなんとか受注があるものの、8月以降はほとんど見通しがつかない。発注側の役員から、設備先行の話はほとんど聞かない。請負業者も、年度当初から開店休業状態だとこぼしている者が多い。
非製造業(建設業)		資材高騰に伴う利益率の低下や、産廃処理のコスト高のため、全体的な景気は変わらないと思う。	
非製造業(金融業)		つくば市周辺等では、土木・建設・サービス業において活発な動きがあるものの、公共事業の減少に伴う各業種の企業利益の減少は、今後避けられない状況にある。	
雇用関連		公共職業安定所	一部の企業が生産増となっているものの、総体的にはあまり変化がないように思う。
学校就業関係者	3ヶ月程度の短期間で、景気の変動は期待できない。		
やや悪くなっている	家計関連	スーパー	冷夏が予想されるため、水物類の売上げが減少すると思われる。
		レジャー施設	業種的に天候に左右されるため、冷夏の予想が少々気になる。
		理・美容店	景気改善の兆しは感じられないが、夏に向けて暑くなるので、カット客が増加することを期待している。
	企業関連	製造業(食品)	7~8月上旬頃は、中元贈答の需要があるため、売上げが大幅に伸びるが、9月以降はその反動で減少すると予想される。
		製造業(食品)	現状の回復が見込めない。
		製造業(窯業・土石製品)	原油高騰により、鋼材等の資材の値上がり懸念される。
雇用関連	人材派遣業	「このまま商売を続けていてもダメになる一方だし、今辞めれば、関係者にも迷惑がかからない」といって廃業した知り合いがいる。	
悪くなっている	家計関連	タクシー運転手	顧客先からの値引き要求を受けざるを得ず、収益率が更に落ちることが予想される。先行きは不透明である。
		タクシー運転手	病院の患者も、家族送迎等が増え、タクシーを利用する客は減少する一方である。
		タクシー運転手	実質的な賃下げを行う中小企業もあると聞かすが、庶民の懐景気が改善しなければ、タクシーの利用は増えないと思う。
	企業関連	製造業(一般印刷業)	長距離利用の客が減っている。また、企業もタクシーチケットの利用を控えているようである。
	雇用関連	求人広告	業界の通例で、9月末頃までは更に収益が悪化すると見込まれる。冷夏が予想されるため、消費が低迷することを懸念している。また、ガソリンの値上げがいつまで続くのかも心配である。

## (5) 県西地域

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答区分	分野	業種・職種	理 由
良くなっている	-	-	-
やや良くなっている	家計関連	農産物直売所	業種に格差はあるものの、概ねボーナスの支給額も回復傾向だと聞くので、これにより景気もやや良くなると思われる。
		洋食食堂	週末の予約件数が、売上げが好調だった3ヶ月前並に戻った。平日もポツポツ予約が入るようになっており、景気はやや改善しているように思われる。
		寿司店	これから夏に向けて、暑気払いの機会も増え、生ビールの売上げに期待している。店でも新メニューの考案等により一層の売上げ増を目指す予定である。
		和食レストラン	夏休みを迎え、外食の頻度が上がることを期待している。
	タクシ-運転手	ボーナス、中元シーズンに向けて、商店街が活気付いてきたように思う。季節の入替え程度ではない、店全体のレイアウトを変更している店が目につく。	
	企業関連	製造業(石材業)	3ヶ月前は彼岸月なので、仕事は忙しくなると予想される。但し、安価な中国製品と競争しなければならないため、利益はそれほど期待できない。
	雇用関連	人材派遣業	例年7~9月は仕事が増え、売上げが伸びる。
変わらない	家計関連	スーパー	世の中の構造が大きく変化しない限り、現在の景気に大きな変化はないと思う。
		自動車販売店	新型車発売に伴う売上げ増の効果はあるものの、有効期間が短い。新型車の発売がないと、販売台数も伸びない。
		衣料品専門店	とうもろこし、じゃがいもが豊作で供給過剰になると、値崩れが激しいので心配している。
		専門スーパー	今年に入って以降、客数にも買上点数にも大きな変化はなく、今後とも変化する要因がない。
		ガソリンスタンド	6月に若干下がったものの、原油は高止まりになっており、今後極端な下げは考えにくい。運送業者等はコスト負担が増し、相当厳しい状況になるのではないかと。
		和食食堂	景気はやや悪くなっていると思うが、その分を企業努力でカバーしていきたいと思っている。
		都市型ホテル	3ヶ月前も、現在とそれほど変わらないと思う。
		旅行代理店	良くなると思える材料がないので、先の見込みもはっきりしない状況である。
		タクシ-運転手	この時期は毎年同じ様な状況だが、今年も好転する要因がない。
		タクシ-運転手	県西地区のあちこちで、工場やスーパーの閉店の話を聞く。これ以上悪くなるとは困るが、良くなると思えない。
		タクシ-運転手	地元の工業団地に新規企業が入る等の特別要因がない限り、売上げに大きな変化はないものと思われる。
		ドライブイン	客のニーズを掴んだ品揃えができるかどうかにより、店ごとの売上げは多少変わるが、業界全体としての景気はさほど変わらないと思う。
		ドライブイン	県西地区から海に向かう者は少ないため、これから夏にかけて、国道50号線沿いのドライブインでは、暑さのため旅行者が減少する。
		ゴルフ場	予約状況は、依然とあまり変わらない。
	ゴルフ場	5月に客が集中したこともあり、6月以降の反動がやや懸念される。	
	ゲームセンター	今後、水戸市近郊に大型ショッピングセンターが出店していくことを考えると、県西地区の景気が良くなることはないと思われる。	
	レジャー施設	夏のレジャーは、天候に左右されるため、現時点での予測は難しい。	
	理・美容店	最近、客との会話の中で、ガソリン価格が話題になることが多い。車と生活が切り離せない地域なので、ガソリン価格の変動は気になる。	
	理・美容店	季節によって顧客の動向は違うが、景気は3ヶ月前もあまり変わらないと思われる。	
	建築設計事務所	住宅は、新規物件より、小規模の増改築工事が多い。	
	企業関連	農業関係者	地元の特産物である梨の生育が遅れており、出荷期が集中することが予想され、価格に期待ができない状況である。
		製造業(食品)	季節商品は、天候や気温に左右されやすいので、今後の天候に期待したい。
		製造業(印刷業)	秋以降の市町村合併が、地元経済の活性化に結びつくことを期待している。また、今年3月期の決算が好調だった企業の復配や増配等の影響が、今後地方景気にも現れてほしいと思っている。
		製造業(化学工業)	特に良くなる、悪くなるという兆候がない。
		製造業(金属製品)	技術を要する仕事は増加し、簡単に終わる仕事は減少しているので、コストがかかり利益がなかなか上がらない。
		製造業(一般機械器具)	仕事は沢山あるが、納期の関係で、欲しい仕事が取れない場合がある。業務量には波があり、多い時は社員が残業で対応している。
		製造業(電気機械器具)	今後も、景気に変化する要素が見当たらない。
非製造業(建設業)		地元のスーパーが撤退を予定しているらしい。小売店もシャッターを閉めた店が多く、景気が上向きとは言い難い状況である。	
非製造業(倉庫業)		消費の伸びは変わらないと思う。	
非製造業(金融業)		現状のまま推移すると思われる。	
非製造業(広告業)		例年どおり、夏までは、一段落状態が続くと思われる。	
非製造業(ｺﾝｶﾞｸﾄ業)		同業種の社長達は、しばらくは変わらないという意見である。	
雇用関連		求人広告	製造業・運送業ともに、仕事量が増加しているという話を聞かないので、求人状況も大きく変化しないのではないかと。
やや悪くなっている	家計関連	商店街代表者	8月末につくばエクスプレスが開通し、東京への便が良くなると、流出人口の増加が見込まれ、本県の景気としてはやや悪くなるのではないかと懸念している。
		スーパー	エリア内で新規出店があると、競合他社との競争が激化し、結果的に各社が苦戦する。オーバーストアの傾向は今後ますます進み、淘汰されていく店舗が増えるのではないかと。
		都市型ホテル	企業ごと、業種ごとに格差が生じているが、ホテル業界全体としての需要は減っているように思う。
	企業関連	農業関係者	原油価格の高騰等により、農産物の生産コストが増加している。
		製造業(食品)	3ヶ月後も原油高が続いていると見込まれるため、副資材品の高騰が予想される。
		製造業(石材業)	墓地・墓石市場は概ね充足しており、需要そのものが減っているような気がする。新規の注文はきていない。
製造業(印刷業)	生産性の向上を伴わない単価の下落が、当面の間継続すると思われる。		
悪くなっている	家計関連	スーパー	現在検討されている政府の増税案が実施されれば、所得間格差は更に広がり、低所得者は一層財布のヒモを引き締めざるをえなくなるのではないかと。
		クリーニング店	周囲でも、景気が良い話を聞かない。早く、景気が回復することを望んでいる。

### 3 その他の意見

#### (1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計関連	商店街代表者	地域の基幹産業である製造業の工場で、従業員が増員されたようだが、商店街の売上げには直接寄与していない。
	スーパー	個々の消費者の実情に合った個性的な買物が増えている。これに伴い、売れ筋は低額品か高級品の両極端に分かれると予想される。
	スーパー	若年者のマイホーム建築が目立つ。住宅価格の低下に、雇用環境の良好化が加わり、「今なら自分にも手が届く」と感じているのだと思う。
	スーパー	スーパー業界は、大型スーパーの出店が多く、1店ごとに影響があるが、今後、消費者の購買意欲が上がってくる可能性はあると思われる。
	小売業（酒類）	焼酎乙類の売行きは好調だが、ビール類は大型店との価格差が著しく、小売店に大きな影響をもたらしている。
	小売業（靴製品）	最近、ショッピングセンター内の飲食店で食事をせずに、おにぎりや弁当を持参するテナント従業員が多くなった。
	レストラン	伊勢甚デパートが閉店したことで、周辺の商店街、飲食店では火が消えたように客足が落ちてしまった。
	スナック	買物をする「元気」がなくなっている気がする。
	食堂	伊勢甚デパートが閉店した影響か、車社会の弊害なのか、商店街に賑やかさがなく、ひっそりしている。
	観光型ホテル	製造業大手では、黒字決算を出した企業も多く、賃金・賞与等も上昇傾向にあると聞く。これらが行楽意欲につながることを期待している。
	観光型ホテル	利用日の直前まで予約を入れない客が増加している。予約人数は少なかったのに、当日になり利用者が増えることが度々ある。
	タクシー運転手	乗車した客からも、明るい話は一向に聞かない。
	ドライブイン	「欲しいものがない」と客が話しているのをよく耳にする。客の購買意欲を刺激する珍しい商品を取り扱って、客の反応を期待したい。
	ゴルフ場	3ヶ月前と比べて、客からの値引き要求が緩やかになってきた。また、当日や前日の予約が増加している。
	ゲームセンター	飲食店は良い傾向にあると思う。
	レジャー施設	レジャー施設での客の滞在時間が短くなっている。
	理・美容店	伊勢甚デパートは閉店してしまったが、日立駅の改装工事や、新たな病院や葬祭場の建設が進行中である。古賀メロディ教室等が開催され、神峰公園の周辺も賑やかになった。県北地区の再生に期待したい。
	理・美容店	伊勢甚デパートが閉店し、再開が危ぶまれている。これにより、地元商業が更に低迷することを危惧している。
	クリーニング店	生鮮食品や惣菜等を主体に販売する99円ショップが近所に開店してきた。
住宅販売会社	運送業関係の来場者が増加している。	
企業関連	水産業関係者	不漁続きのため、金融機関の貸し渋りが激しい。漁業者は系統金融で何とか対応しているが、加工業者は運転資金の借入れが難しく、一部では水揚鮮魚代金の支払い遅滞が生じている。漁協に元気がないので、町全体に活気がない。
	製造業（食品）	原油高騰により資材が値上りしているが、それに伴う価格上昇分を製品に転嫁できず、苦慮している。
	製造業（電気機械器具）	大型百貨店の閉店やタクシー業界の合併等、県北地区の景気に上向き感を感じられない。
	製造業（電気機械器具）	昨年度は、受注の納品先が海外中心だったが、今年10月以降は国内物件での作業量が大幅に増加すると見込まれる。
	製造業（電気機械器具）	中国向けの輸出が好調である。
	非製造業（建設業）	市町村合併に伴う、新規建設工事の増に期待している。
	非製造業（金融業）	スーパー、百貨店の閉店等により、商業地域としての利便性が減少していると思われる。
	非製造業（不動産業）	ボーナス支給にも関わらず、飲食店等の利用客は増加していない。
非製造業（情報処理サービス）	当社では、しばらく新人採用を控えていたが、今年度は採用し、中途採用も考えている。長い目で見れば、景気は良くなっていくと思う。	
雇用関連	学校就業関係者	製造業で、派遣社員を活用する企業がある一方、従来、派遣や請負で対応していた業務を常勤（正社員）に置き換える企業がある。
	求人開拓員	製造業では、生産量の増加に対応するため、現場作業員（中高年者）を積極的に採用しているが、その人達を管理する人材が不足しているように思う。特に30歳前後の若手年代層の空洞化が懸念される。
	求人広告	近所に大規模な病院が建設中なので、これに伴う雇用増を期待している。

## (2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計関連	商店街代表者	水戸駅や赤塚駅周辺の再開発により、そちらへ客足が流れ、商店街の客が減少しているように感じる。今後継続再開発や大型店の増床等により、更に街が衰退していくのではないかと危惧している。
	百貨店、総合スーパー	客の購買意欲は上がっているが、それ以上に、必要なものを選択する目が厳しくなっていると感じる。
	百貨店、総合スーパー	衣料品は、4～5月は概ね好調だが、子供服の売上げがやや不振だった。雑貨や日用品は、3月以降好調を維持している。一方、食料品は、近郊に大型スーパーが2カ所出店した影響で、苦戦を強いられている。
	スーパー	半年前は定番商品が売れていたが、最近では広告品や特売品のみでの買い回り客が増加している。
	スーパー	少しでも安い商品を買おうと、複数の店舗を廻り、底値の商品のみを買う傾向があるように思う。
	スーパー	赤塚駅の乗降客は前年比113%と増加しており、駅前には大型スーパーが2店出店するうえ、マンション建設等も進んでいる。今後も地域の景気に対して良い影響を及ぼさそうである。
	コンビニエンスストア	ボーナスの支給時期だが、売上げが上昇する傾向は見えない。
	自動車販売店	客との会話の中で、仕事も安定し、景気も段々よくなってきたという話を少しずつ聞くようになってきた。
	スーパー	売上げは、チラシの価格に大きく左右される。特価品のみを購入する買い回りの傾向が、以前よりも激しくなった。
	観光型ホテル	県産の土産品は安定した人気がある。今後は、高齢者層への配慮や旅行者者との連携にも関心を持って取り組んでいきたい。
	旅行代理店	万博効果がある一方で、外交問題が痛手となって、中国・韓国方面への旅行者数は伸び悩んでいる。
	タクシー運転手	最近、夜の飲食店や商店街には人通りが少ない。
	タクシー運転手	建物を壊した跡地が駐車場になっている場所を多く目にする。また、コンビニが増加しているのも目につく。
	タクシー運転手	よく乗車客から、タクシーの仕事は忙しいかと訊かれる。変わらないと応え、同じ質問を返すと、うちは悪い方かなと回答する客が多いように思う。
	タクシー運転手	ここ数年、空地だった場所が駐車場に整備されているのをよく見かける。また、街の表通りでは、かつて中小商店や企業の事務所が入っていた場所に、空店舗の看板が掛かっているのをよく目にする。
	ゴルフ場	予約時に料金を確認する利用者が増えている。ゴルフ業界では、景気回復にはまだ時間がかかりそうである。
	ゲームセンター	夏にはジョイフル本田の隣にシネコンが、秋口には内原イオンモールが、そして来年には水戸駅南口に新たな商業集積地が誕生する。シネマスクリーンが25館以上増加することとなり、今年から来年にかけては、アミューズメント業界にとって激動の1年になりそうである。
	レジャー施設	土産品として、自分用には比較的高額な商品を購入するが、近所や友人等用には安価な商品を選択する傾向があるように思う。
	理・美容店	一部では景気の良い話も聞かすが、個人店の感覚では、じわじわと悪くなっているように感じる。経費もなるべく出さないよう気をつけている。
	住宅販売会社	周辺では、海外旅行に行く話が増えたように思われる。
建築設計事務所	つくばエクスプレスの開通に伴い、つくば市内では大規模なマンション建設が増加していると聞く。主に建設を請け負っているのは県外の大手業者だが、開通効果により県内の建設業も活性化することを期待している。	
企業関連	製造業（食品）	現在、個人所得税の見直しが論議されているが、サラリーマンにとっては増税色の濃い内容であり、更に消費税率の引き上げが重なれば、個人消費が一層落ち込むのではないかと懸念している。また、車社会のため、原油高騰によるガソリン代が負担になっている。
	製造業（食品）	春先の天候不順が、そのまま景気を表すように、客足が落ちている。
	製造業（出版・印刷業）	業界として要望していた、官公需の発注形態の見直しが本年6月議会で採択された。これにより、単価の下落に歯止めがかかり、景気好転の材料になってくれることを期待している。
	製造業（土石製品）	大手の業績は好調のようだが、中小企業は依然として先が見えない状況である。
	製造業（金属製品）	景気の良い話が以前より少ない。停滞している感じがする。
	製造業（一般機械器具）	市内では新しい居酒屋がオープンし、客入りも良さそうだが、タクシーの運転手は、代行に客を取られてしまい、このままでは生活できないとこぼしていた。
	製造業（一般機械器具）	4月より中国市場への展開を進めてきたが、ここにきて小口ながら発注が出てきた。アメリカ市場への進攻も継続しており、その成果が期待される。今は、国内よりも海外市場の動きに注目している。
	非製造業（建設業）	中国景気の影響で鉄の価格が再び高騰していること、及び原油高騰に伴う運送経費の増により、鉄筋、鉄骨等の建設資材価格が高騰するのは必至と思われる。
	非製造業（金融業）	中心市街地に立地する、大手百貨店閉鎖の報道に、周辺商店街では今後の集客に不安感を持っている。
	非製造業（広告代理業）	秋口の内原イオンモール開店を迎え、求人が活発になってきている。但し、多くの求人はアルバイトやパートなので、一時的に人材が流動するだけのような気もする。求人数は増加しているのに、求職者の質が伴わないため、人材確保がうまくいっていないようである。
	非製造業（コカク外業）	地元市街地の、特に裏通りで新規出店が相次いでいる。
	非製造業（情報処理サービス）	期待していた程、景気上昇は感じられない。但し、中小企業にも明るい話題が増えていることは確かだと思う。
雇用関連	求人開拓員	景気に左右されることなく、慢性的に医療・福祉・情報（IT）関連業は人手不足である。各分野における技術者も人手不足である。
	求人広告	飲食店に人が多く入っている。家庭でも個人でも、外食するだけの余裕がでてきた現れかもしれない。また、マンションの建設も多数見受けられる。
	公共職業安定所	5月より、平日の開庁時間延長（17:00～18:30、1日平均利用者は約15人）及び土曜日開庁（1日平均利用者は70人）が実施された。来所者の4～5割は在職者で、全体の8割強を20～40歳台が占めている。



(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計関連	小売業（金物店）	顧客の大型店指向，地域外店への流出傾向が顕著であり，小売店経営は厳しい環境にある。
	商店街代表者	大型店，量販店にはない機動性を活かす自己変革をしたものだけが生き残れる厳しい時代となっている。
	商店街代表者	鹿行地区には，大型店やチェーン店が多く出店しているが，そろそろ集客力に限界が来ているのではないかと懸念している。
	スーパー	テレビ等により，健康面で効能があると紹介された商品は，すぐ欠品になってしまい，製造元も供給が追いつかないことがある。
	小売業（酒類）	昨年と比べると，企業の定期修理が小規模に終わったため，それに関連する企業の購買額も前年比を大幅に下回っている。
	スーパー	求人に対する応募者が増加している。他企業において人員の絞込みが盛んになっているためではないか。
	自動車販売店	今年は潮の流れが悪く，魚が採れないので，漁業関係者は生活が大変だと聞いた。
	小売業（薬品店）	薬事業界では，規制緩和の名を借りて，消費者の健康と安全が置き去りにされているような気がする。
	書店	大企業と同様に，小売業でも収益が好調な所と低迷している所の2極化が進んでいる。小売業は，売上げが立地条件に左右されるため，営業努力や店舗改装程度では増収に結びつかない。また，ノウハウや資金面で有利な大型チェーン店との競争にも苦戦している。
	小売業（菓子販売店）	周辺では，メロンから菓物に切替える農家が増えているが，菓物の価格が上がらないと聞く。
	タクシー運転手	週末は，運転代行の利用者が多く，遠距離の仕事がタクシーより多いように思う。
	タクシー運転手	ショッピングセンター等の買物客が減少したように見える。
	洋食食堂	飲食店に限らず，開店と閉店のサイクルが激しい。低金利により，資金や土地を活用しやすくなった反面，経営の巧拙差が広がっているように思う。
	日本料理店	鉄鋼関連企業の景気が改善してきているので，それが波及して地元の飲食店も潤うことを期待している。
	理・美容店	料金の安さに惹かれて，技術の未熟さに目をつぶる客が多い気がする。
	クリーニング店	鹿行地区の土木関連会社では，例年北海道からの出稼者を5月頃まで雇用しているが，今年は7月頃まで契約を延長すると聞いた。6月に開催された全国植樹祭の影響で，例年より仕事が増加したのではないかと推測している。
	サービス業	同一分野でも，企業間で格差が広がっていると感じる。
	住宅販売会社	土地の分譲が増えている。これにより，土地付き住宅を希望する若い顧客の動きが加速することを期待している。
	ドライブイン	地元産の米がかなり売れている。
企業関連	製造業（食品）	現在は地元農産物の収穫時期ではないので，活気が今一だが，収穫時期になれば，地域に一層の活気が出てくると思う。
	製造業（窯業・土石製品）	市内でコンビニが激戦している。新店舗が増える一方で，閉店する店も目に付く。
	製造業（金属製品）	最近，運転代行を頼んでも，すぐ来ない場合が多いように思う。全体的に，外飲食の機会が増加しているのではないか。
	製造業（電気機械器具）	軽油の値上がりによるコスト負担増が大きく，少々単価を上げて，損益的に足を引っ張っている。
	製造業（飼料製造）	総会や定期修理の時期なので，人も物も活発に動いている。特に，ホテルや飲食店は相当の賑わいを見せている。
	製造業（化学工業）	防災やセキュリティに関する投資が増えている。
	非製造業（住宅設備施工業）	顧客の中でも，仕事の有る人と無い人に分かれてきている。
	非製造業（輸送業）	原油高の物流業界への影響は深刻である。また，昨今盛んに行われている企業提携が，業界に及ぼす影響にも注視する必要があるようだ。
	非製造業（金融業）	預金利率がゼロに近いので，資金運用の手段として，不動産業者以外の投資家が，アパート等の賃貸物件の競売に入札するケースが増加している。
	非製造業（金融業）	建設工事が減少しているように感じる。
雇用関連	人材派遣業	飲食店を中心に，夜の人出が多く感じられる。また休日は，大型量販店の駐車場が買物客で一杯になっている。
	民間職業紹介業	求職者は依然として多いが，仕事を選び好みして，マッチングしないケースも増えているように感じる。人材不足は深刻な課題である。
	学校就業関係者	求人募集にもかかわらず，求職者がいない職種があると聞いた。
	求人開拓員	職種によっては，チラシで求人募集しても，応募者が昨年よりかなり減少しているようだ。

## (4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見	
家計関連	商店街代表者	つくば周辺では、つくばエクスプレス開業による景気回復への期待が高まっており、人の集まりが良くなっている。	
	スーパー	特売品だけ買い回る客をよく見かける。	
	スーパー	福島県の大手スーパーが、県内全ての店舗を子会社化するという話を聞き、少なからず動揺した。経営状態が良いと言われていた企業だけに、事態は深刻なのだと思う。今後、当該スーパーの県南地区への出店が検討されており、更なる競争状態に陥ることは間違いなく、不安である。	
	コンビニエンスストア	世帯構成、ライフスタイルの変化のためか、休日の来客数が減少しており、売上げの落ち込みも大きい。	
	自動車販売店	中古車市場の動きが悪いような気がする。	
	農産物直売所	相変わらず、切花の需要が低迷している。	
	農産物直売所	省力化した労力で他の仕事を行うため、米作りの際、肥料や農薬を使用する農家が増加しているように思う。	
	ガソリンスタンド	現在、土浦駅前の商店街は夜7時には閉店してしまう。つくばエクスプレスの開業により、東京方面の電車は、つくば発着が中心となり、土浦駅周辺商業の地盤沈下が更に加速するのではないかと心配している。	
	洋食食堂	コンビニ経営者がアクセサリ販売を始めたり、居酒屋の経営者が山野草・蘭や下着の販売を始めたり、エステシヤンの技術を習得したり、ケースは様々だが、本業を助けるための副収入の道を模索する動きが、周囲の経営者の間で見受けられる。	
	寿司店	退職者の増加を反映しているのか、昼間の市街地に男性の姿が多くなったように思う。また、周囲で介護の話題が出るが多くなった。	
	和食食堂	つくばエクスプレスの開業に伴い、県南地区の人の動きがどう変化するのかに注目している。つくば地区の興隆を期待する一方で、土浦地区の衰退を心配している。	
	都市型ホテル	つくばエクスプレスの開通を控えて、マンションやショッピングセンター等、新しい施設が次々に建設されている。	
	旅行代理店	海外拳式プランについての問い合わせを良く受ける。昨年などに比べて件数が増えているように思う。	
	タクシー運転手	夜の飲食店に客が少ない。	
	タクシー運転手	駅前商店街が閉店し、跡地を利用した駐車場が増えている。	
	タクシー運転手	夜の駅には、家族を迎えに来るマイカーが多い。	
	タクシー運転手	土地取引が徐々に活性化しているという話を聞く。	
	タクシー運転手	ボーナスの支給により、消費者の財布のヒモが緩むことを期待している。	
	企業関連	ゴルフ場	ゴルフ人口が高齢化しているためか、メンバーの来場回数が減少しているように思う。このため、ビジターの紹介をなかなか貰えず、全体的に来場者数も減少していくような気がする。
		ゴルフ場	シーズンインし、利用者数は増加しているが、少しでも安くという傾向があり、割引券に関する問い合わせが多い。
レジャー施設		近所に大型量販店ができた。	
理・美容店		土浦市まちづくり活性化バス「キララちゃん」が、幅広い年代層の利用者に好評である。中心市街地の活性化につながることを期待している。	
農業関係者		ガソリンも値上がり傾向にあり、生活の中で積極的に消費に回すような余裕はない。	
製造業（食品）		取引条件が厳しくなりつつあるように感じる。	
製造業（食品）		つくばエクスプレスの開業を前に、つくば市内では、アパート建設や商業施設の開店等が多く見られるが、地元住民には景気変動が感じられない。	
製造業（食品）		経営者から、明るい希望の話がでない。	
製造業（食品）		連休後の景気の落ち込みが著しい。	
非製造業（建設業）		大手企業の家族寮・独身寮を、解体又は転用（グループホームや老人ホーム）するケースが増えている。また、専門学校や幼稚園での設備投資が盛んになっている。土浦駅周辺では、マンション建設の計画が複数進行中。	
非製造業（建設業）	近所の工場は仕事が忙しいと聞いた。土浦市神立地区は全体的に、やや景気が良くなっていると思う。		
非製造業（建設業）	調整区域のため、住宅建設が制限されてしまう土地が多い。金利や税制面だけでなく、法規制も柔軟になれば、消費者の購買意欲も上向くように思われる。		
非製造業（不動産業）	若年層の購買意欲が盛んなのに対し、中高年層の住み替え・買い替えの意欲は低い。グループホーム等の福祉施設の建設が盛んである。		
非製造業（金融業）	昨年中は、つくば市中心部の土地が活発に取引されていたが、現在は売りに出される物件が減少している。		
雇用関連	人材派遣業	複数の顧客先で、給料が下がったとボヤいている担当者がいる。再リストラや稼働時間の短縮が行われている業界もあるようだ。	
	求人広告	つくばエクスプレス開通2ヶ月前にもかかわらず、駅周辺に空き地が目立つ。	
	公共職業安定所	採用を控えていた事業所からの求人申込みが目立つようになった。	
	学校就業関係者	求人の出足は昨年と比較すると非常に早く、件数も若干ながら増加傾向にある。特に、製造・製作・修理部門の求人が多い。このことから、急速にはないが、景気は上向いていくと思われる。但し、消費にまで影響が及ぶには、今後半年以上かかるのではないかと。	

## (5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計関連	スーパー	各業界で雇用拡大傾向なのか、ハローワークや県主催の就職説明会に参加しようとしても、ブース不足でキャンセル待ちだった。
	スーパー	業界内で、勝ち組と負け組の格差が生じ始めた。どうしたら勝ち組に残ることができるか、各社模索している最中である。また、少子高齢化が進む中、団塊の世代の今後の動きを、各業界が注目しているように思う。
	自動車販売店	法人・企業からの需要が少ない。
	衣料品専門店	このところ、50号バイパス周辺に大型店の出店が相次いでおり、個人商店は苦戦を強いられている。来年も結城市北部に大型ショッピングセンターの出店が計画されているようなので、影響を懸念している。
	ガソリンスタンド	5月にリサイクル関連の店がオープンした。同種の店は全国的にも増えているらしいが、県内でも更に増えるのではないかと。
	洋食食堂	休日に外出しても人の数が多いような気がする。周辺でも、メガネ屋・花屋・カーショップ等の新店舗が建設中である。
	寿司店	特別養護老人ホームやデイサービス等の福祉関連施設が、最近急速に増えた。また、外国人居住者の増加に伴い、外国人専門店も増加している。経営している寿司店にも、外国人の客が来るようになった。
	和食食堂	大手外食産業の地方進出が目立つ。
	和食レストラン	地方では、都心部よりも、景気の悪さをより感じる。
	都市型ホテル	観光ホテルからビジネスホテルまで、競争激化で経営に苦戦するホテルが多い。
	旅行代理店	海外進出している企業等が、不安定な国際情勢を懸念して、出張等を控える傾向が伺える。
	タクシー運転手	病院だけは、いつも人が多いと思う。
	タクシー運転手	企業の新人研修等へ参加する人が、昨年より増加したように感じる。現在のところ、地方の会社や工場に景気の上向き感はないが、大手企業内には明るい見通しがあるのかもしれない。
	ドライブイン	中国から輸入された安価な商品が、どこでも販売されているだけに、日本製商品の販売は厳しいと思う。
	理・美容店	少し前までは、「会社が倒産したので、新しい仕事を探さなければ…」という話を耳にしたが、最近はほとんど聞かなくなった。
建築設計事務所	業界の将来見通しが不透明なため、世代交代の時期を迎え、後継させるか否かで迷っている同業者が多い。	
企業関連	農業関係者	周囲で、パート等の就労希望者が増加している。
	製造業（食品）	J R西日本の事故以降、企業内に福利厚生事業の極端な自粛ムードが広がったように思う。
	製造業（印刷業）	かつては大手製造業の社長が名を連ねていた長者番付の顔ぶれが、最近はITやパチンコ関連企業等に様変わりした。団塊の世代が、松下幸之助や本田宗一郎を手本として志気を高めたように、これからも運の良い人が得をするのではなく、努力した人が報われる社会になってほしい。
	製造業（石材業）	最近、クーポンやサービス券を提供する飲食店が目につく。外食産業の競争が激化しているようである。競争無きところに進歩はないというが、消費者へのサービス向上等につながるような、良い意味での競争は歓迎すべきだと思う。
	製造業（印刷業）	つくばエクスプレスの開通により、通勤・通学が便利になるため、東京方面からの転居の話を多く聞くようになった。
	非製造業（建設業）	今年後半には、古河市や桜川市を始めとする市町村合併が予定されており、これに関連する仕事が増えることを期待している。
	非製造業（金融業）	将来について、景気が良くなるとの判断はないものの、8月に開通するつくばエクスプレスへの期待は感じられる。
	非製造業（広告業）	小さな仕事が多く、思うように売上げが伸びない。
雇用関連	人材派遣業	取引先の食品関係企業では、あまり売上げの変動はないようである。
	求人広告	どの業種でも、人材集めに苦労している。特にサービス業は、店舗展開しても、人材確保がうまくいかないケースが多く見受けられる。これから、少子化やニートの増加が進めば、人材確保が更に難航するのは明らかである。企業側も、良い人材が集まらないとサジを投げるのではなく、若者が夢を持てる企業方針を打ち出したり、高齢者の採用を前向きに考える時期がきているのではないかと。
	公共職業安定所	管内に所在する高校の就職率が100%となった。求人説明会への参加事業所も昨年度より増加しているので、来年の学卒求人も多くなると予測している。
	学校就業関係者	生産工場では、ようやくリストラが終息したようだが、そのシワ寄せで、工場に残った職員の残業時間が増加しているという話をよく耳にする。
	就職相談員	100円均一店の普及により、消費者の意識も小売店の在り方も変わってきた気がする。地域に根ざした店舗に、活気が出てくることを期待している。